

東北中央自動車道（しもいんない下院内～おがち雄勝こまち）

資料 3

計画段階評価 第3回 説明資料

目 次

1. 前回委員会の概要	1
2. 地域からの意見聴取結果（第2回）	
2-1. 意見聴取に関する広報の実施状況	2
2-2. 意見聴取概要	3
2-3. 意見聴取結果 住民アンケート	4
2-4. 意見聴取結果 企業アンケート	14
2-5. 意見聴取結果 企業ヒアリング	17
2-6. 地域特有の道路課題と意見聴取結果	18
3. 対策方針（案）の検討	
3-1. ルート帯案の検討	19
3-2. 対応方針（原案）の検討	22
3-3. 自治体への意見照会結果	23
3-4. 対応方針（案）	25

国土交通省 東北地方整備局

平成26年11月4日

1. 前回委員会の概要

□ 東北地方小委員会開催状況

第9回東北地方小委員会〔平成25年11月28日開催〕、第10回東北地方小委員会〔平成26年3月28日開催〕

□ 第10回小委員会の主な議事内容

- ①地域からの意見聴取結果（第1回） ②整備方針（ルート帯案）の検討
- ③今後の手続きの進め方（案） ④地域からの意見聴取方法（案）

●第10回東北地方小委員会での主なご意見と対応状況

主なご意見		対応状況
【冬期の状況について】		
冬期の状況確認	・当該地域を体感されていない方はどのくらい雪が凄いかが御理解いただけないと思うので、次の小委員会で、特に冬期間の積雪の状況とか生活道路の状況の写真みたいなものを示していただきたい。	・参考資料で、写真資料を整理。
【地域からの意見聴取結果について】		
意見聴取結果とりまとめ方法	・意見聴取のまとめで、現道課題と道路に求める機能への回答率が高いことから「道路整備の必要性を確認できた」としているが、アンケートでは必要性を直接聞いていないため、表現が強すぎるのではないか。方向性は間違っていないと思うので、表現を工夫すべき。	・第2回委員会資料において、『まとめ』の記載内容から「整備の必要性を確認できた」の文章を削除し、「道路整備課題の共有認識」と「政策目標の妥当性確認」と修正。
【地域からの意見聴取方法（案）について】		
意見聴取チラシ	・第2回アンケートのルート案の比較表などにおいて、一般の方には情報量が多く、理解しにくいのではないかとと思うので、内容を見やすくすべき。	・アンケート票の比較表で、箇条書きにするなどして、見やすくなるよう修正。
意見聴取	・回収率が低かった金山町は、直接生活に関わる地域のため、アンケートだけではなく、実際にも話を聞くなど生の声を聞いて欲しい。	・広く意見を聞くため、対象地域でパネル展示を開催。

□ アンケート実施状況

- ①新聞広告（秋田県・山形県／6月15日掲載）、②市町広報誌へ記事掲載（湯沢市・新庄市・金山町・真室川町）
- ③回収ボックス・ポスターの設置（全23箇所）、④Webアンケートページの掲載（事務所、県、市町村HP）を実施

□ 回収率向上に向けた取り組み

- ①FMラジオでの協力依頼（秋田県・山形県／約2週間／朝夕など）、②防災無線による協力依頼（金山町）
- ③パネル設置にて協力依頼（全5箇所） を実施

●新聞広告（6月15日掲載・秋田版）

アンケートへのご協力をお願いします。
東北中央自動車道（昭和～金山、及位～上院内、下院内～雄勝ごまち）
計画検討に関するアンケート調査を実施します

アンケート実施期間 平成26年6月16日(月)～7月7日(月)

アンケート実施場所は、昭和～金山、及位～上院内、下院内～雄勝ごまち間の道路整備の計画検討にあたり、皆様のご意見を聴くためにアンケート調査及びパネル展示を行います。対象車（ルート車）を標記していただくの表示が項目やアンケート実施位置についてご協力をお願いします。

お問い合わせ先
国土交通省 東北地方整備局
湯沢河川国道事務所 調査第二課
TEL: 0183-73-5559
FAX: 0183-73-5559
http://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/

アンケートページURL: http://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/02_miti/youhokutyuuou/index.htm

パネル展示 アンケート期間中、湯沢市役所1階ロビー・道の駅あがちで計画概要を示したパネルを展示します。

●ポスター

「ご意見募集中」～ご協力をお願いします～
東北中央自動車道 平成26年 アンケート実施期間 **7/7** (月) まで
(昭和～金山、及位～上院内、下院内～雄勝ごまち)
計画検討に関するアンケート調査

東北中央自動車道は、福島県馬場市を起点とし、福島県湯沢市山形県山形市を經由して秋田県湯沢市に至る延長約26.8kmの両側幹線道路です。
本調査は、事業化区間である昭和～金山、及位～上院内、下院内～雄勝ごまち間の道路整備の計画検討にあたり、アンケート調査を行うものです。
対象車（ルート車）を標記していただくの表示が項目やアンケート実施位置についてご協力をお願いします。

アンケートの回答方法
●道路沿いの表示板
●回収ボックス
●インターネット
●スマートフォンから

お問い合わせ先
国土交通省 東北地方整備局
湯沢河川国道事務所 調査第二課
TEL: 0183-73-5559
FAX: 0183-73-5559
http://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/

アンケート票・回収ボックス

●Webアンケートページ

スマホから Web検索から

東北中央道 秋田山形県境

検索

ホームページから

東北中央自動車道
(昭和～金山、及位～上院内、下院内～雄勝ごまち)
における計画段階評価について

回答する

●広報誌記事（広報ゆざわ7月1日号）



東北中央自動車道計画検討に関するアンケート調査へのご協力をお願いします

アンケート用紙は、広報ゆざわ6月15日号と一緒に各家庭に配布したほか、市役所本庁舎、各総合支所や道の駅あがちにも備えています。皆様のご協力をお願いします。

▼広報ゆざわ6月15日号 ▼アンケート用紙

※インターネットからもアンケートに参加できます。
「東北中央道秋田山形県境」と検索してください。
○問い合わせ
湯沢河川国道事務所調査第二課 ☎73-5559へ

●パネル展示

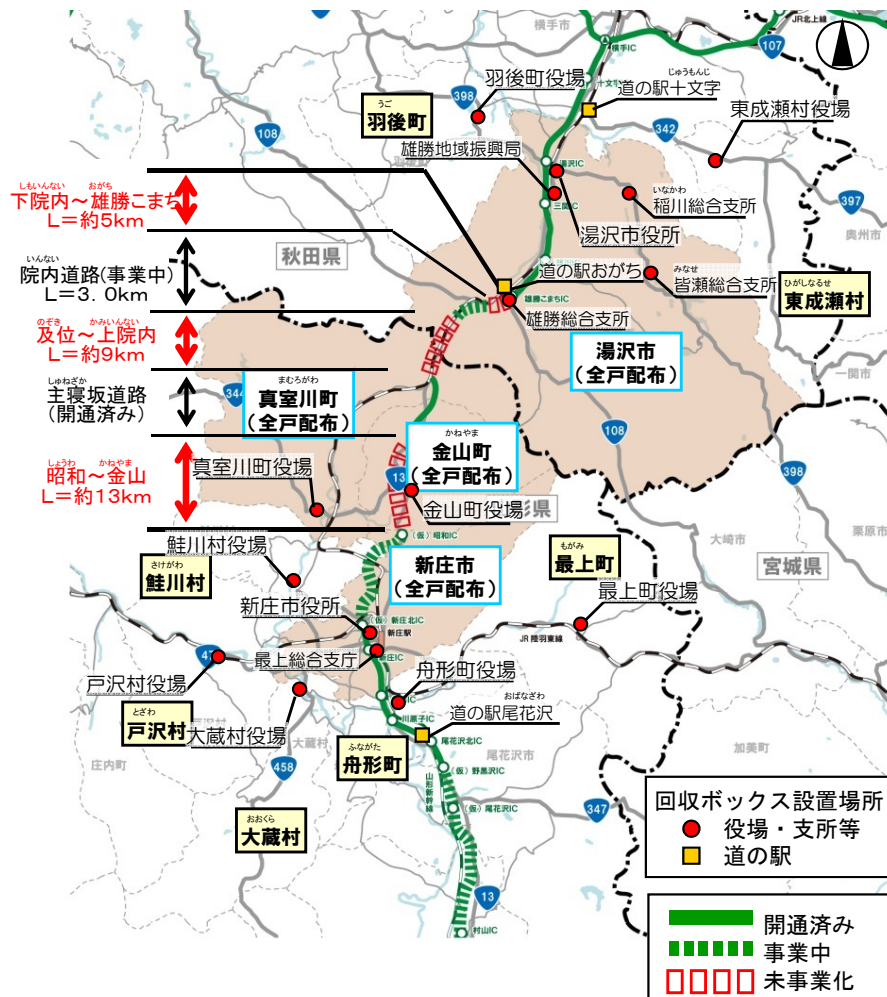


- アンケート実施期間：6月16日（月）～7月7日（月） ※3週間
- アンケートの配布・回収方法、配布・回収数、企業ヒアリング等、以下のとおり実施

●意見聴取実施概要

※()は第1回アンケート

■アンケート(対象/配布回収方法等)		配布数	回答数	回収率
住民道路利用者	全戸配布/郵送配布(広報誌活用) 対象地域(2市2町)	35,985票	12,557票	35% (29%)
	留置/アンケートブース設置 対象地域と周辺市町村役場、道の駅等 23箇所	1,967票	1,967票	—
	WEBページの開設 対象事務所、県、市町村のHPにバナー の貼付	—	251票	—
合計		37,952票	14,775票	—
企業	対象地域の企業等へ郵送配布 (産業、観光、物流、農業、医療)	147社・団体	67票	46% (69%)
■企業ヒアリング(対象/実施方法)		実施数		
個別訪問	対象地域や広域的な利用が見込まれる 企業等 (産業、観光、物流、農業、医療、学校)	35社・団体		



【企業アンケート先】

分類	全数 (社・団体)	回収内訳
産業	69	36
観光	35	19
物流	31	7
農業	5	0
医療	7	5
合計	147	67

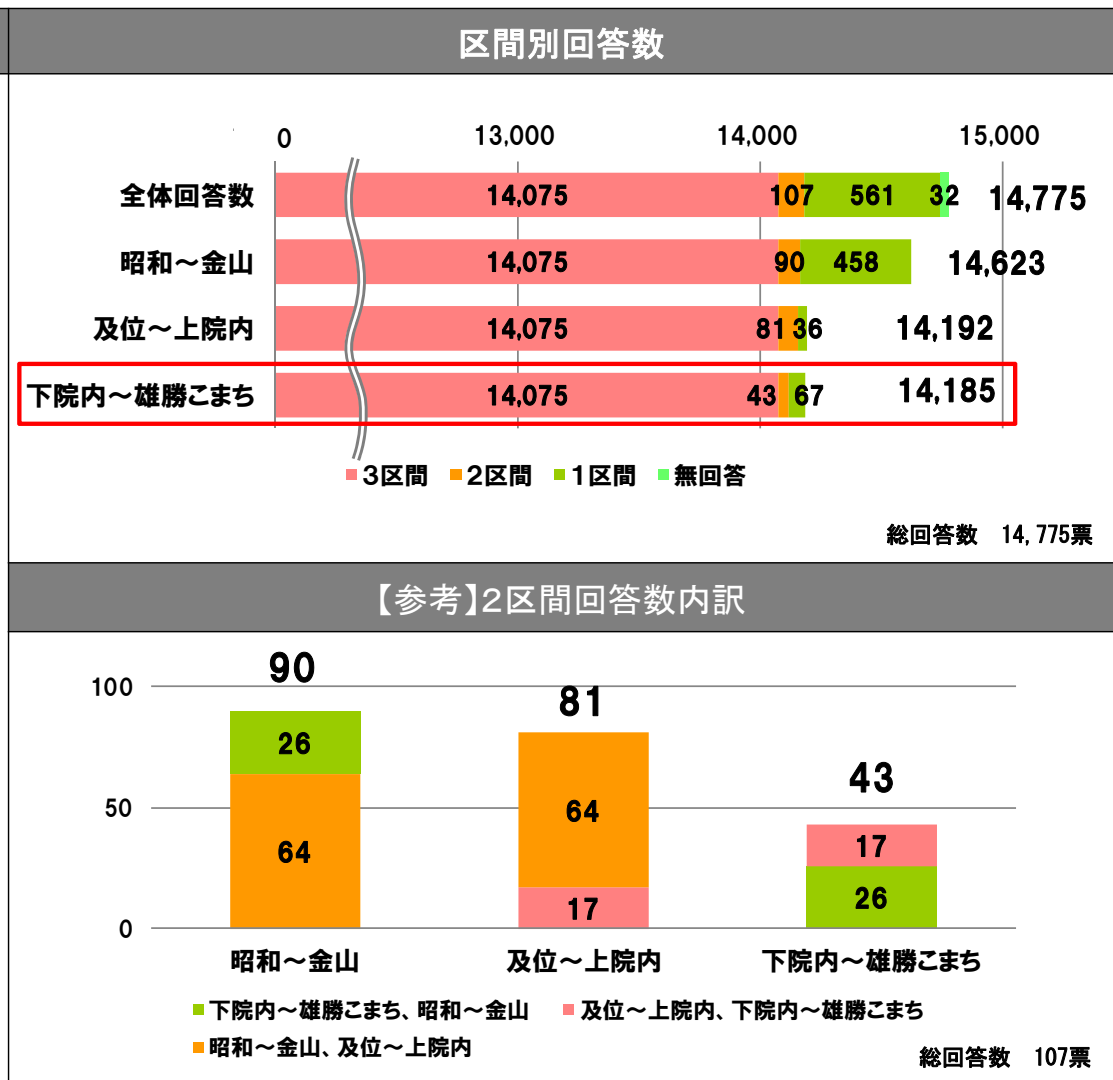
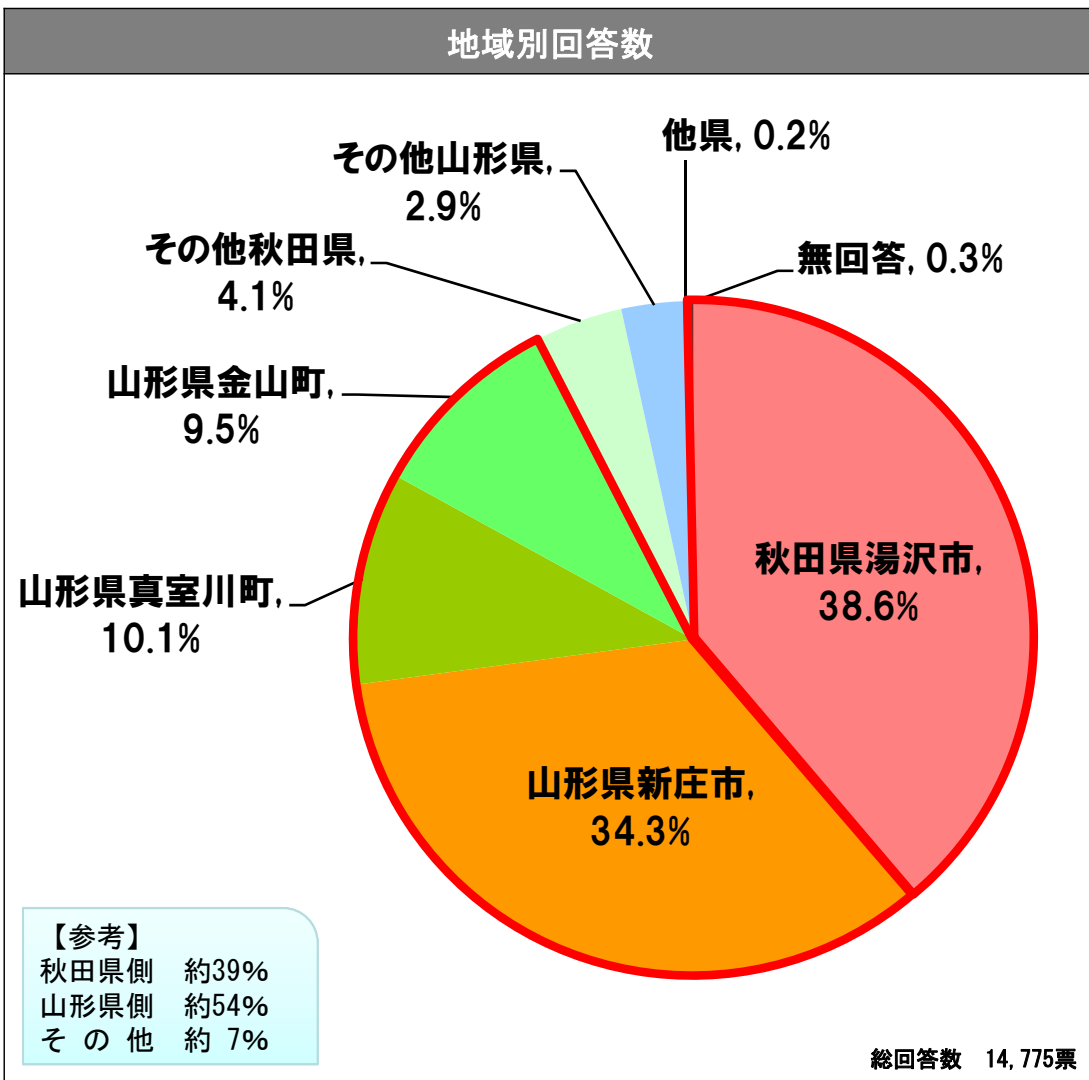
【企業ヒアリング先】

分類	全数 (社・団体)	対象地域	
		対象地域	対象地域外
産業	3	3	
観光	7	7	
物流	10	4	6
農業	4	4	
医療	2	2	
学校	9	9	
合計	35	29	6

～凡例～
 全戸配布地域：湯沢市、新庄市、金山町、真室川町

2-3. 意見聴取結果 回答数 住民アンケート

- 総回答数は14,775票であり、対象地域の秋田県側が約4割、山形県側が約5割でほぼ両県バランスのとれた意見数
 - 区間別回答数は、約9割の方が3区間に回答して頂きほぼ同数の意見であり、「下院内～雄勝こまち」は14,185票
- ※一部、2区間回答者や1区間のみ回答者が存在

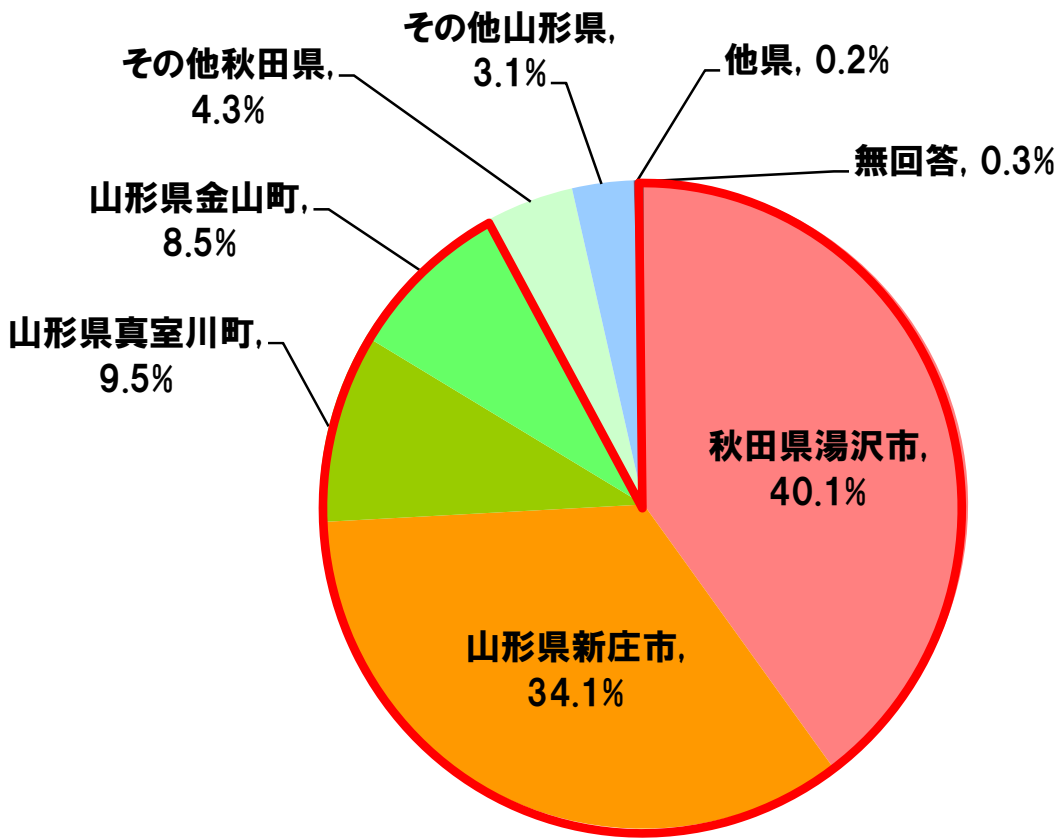


※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

- 下院内～雄勝こまちの総回答数は14,185票であり、居住地別では、秋田県湯沢市の回答が約4割と多く、対象市町村では9割以上を占めている
- 下院内～雄勝こまちの区間について回答した人の年齢や職業構成は、比較的バランス良くご意見を頂けた

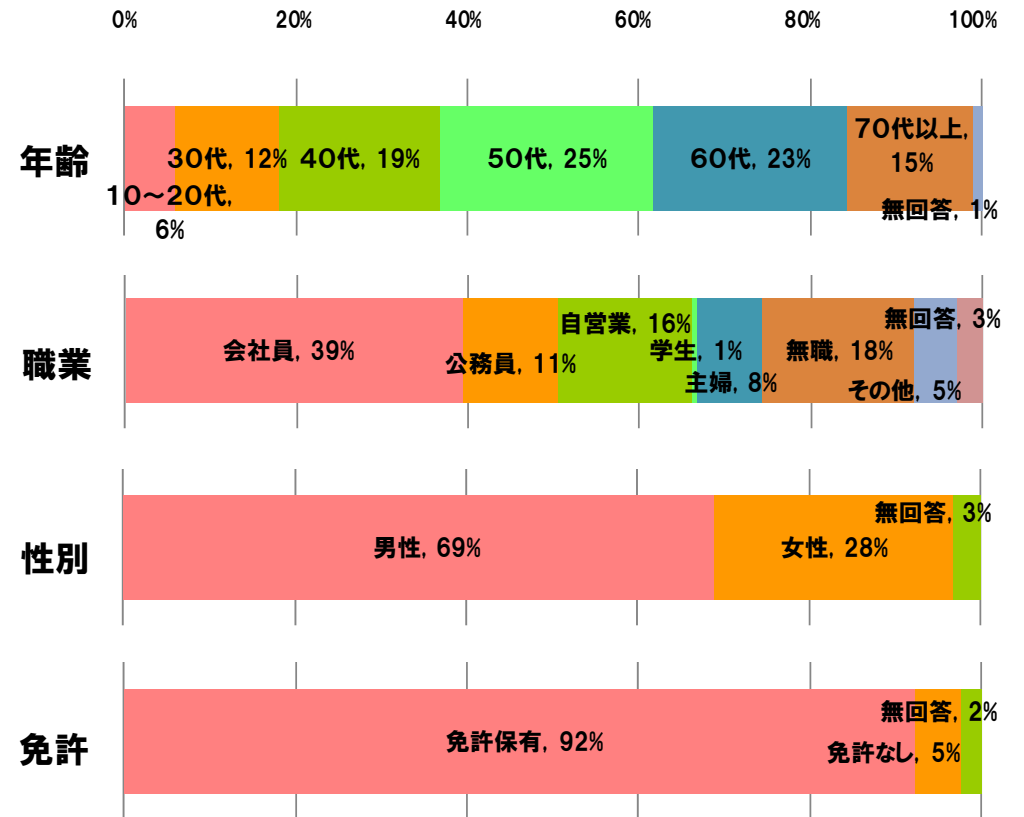
回答者の属性

【居住地】



総回答数 14,185票

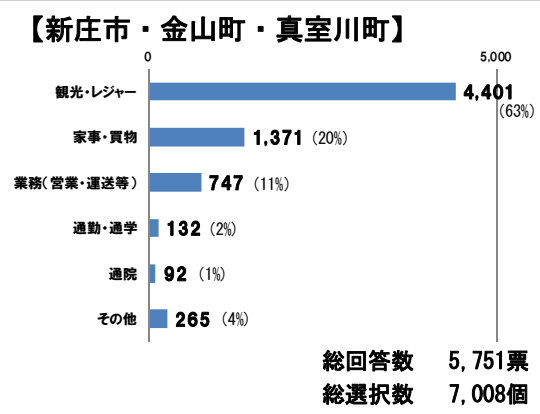
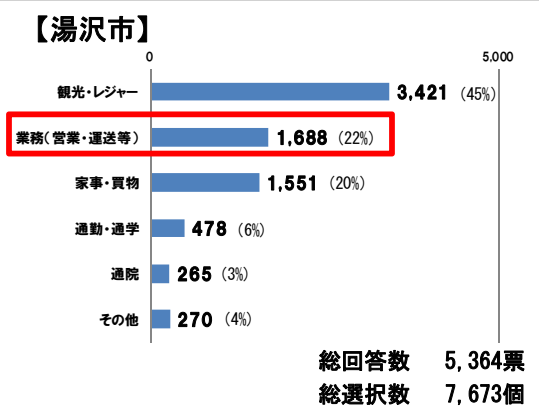
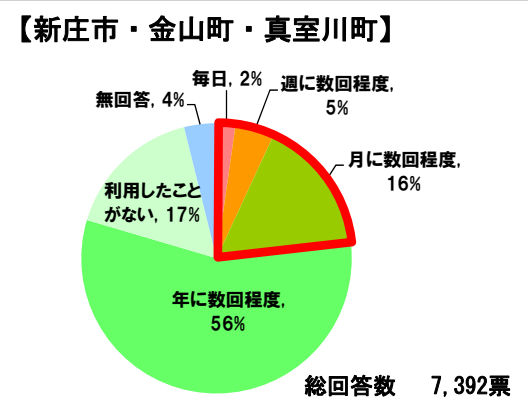
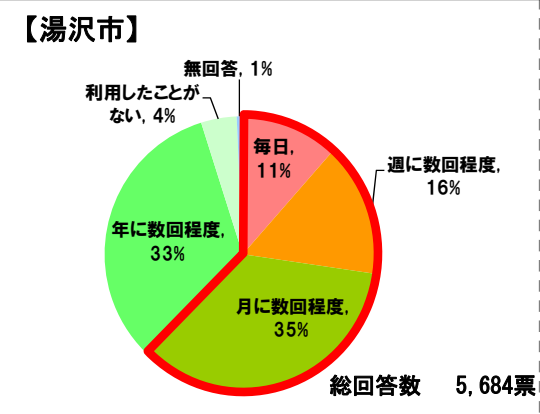
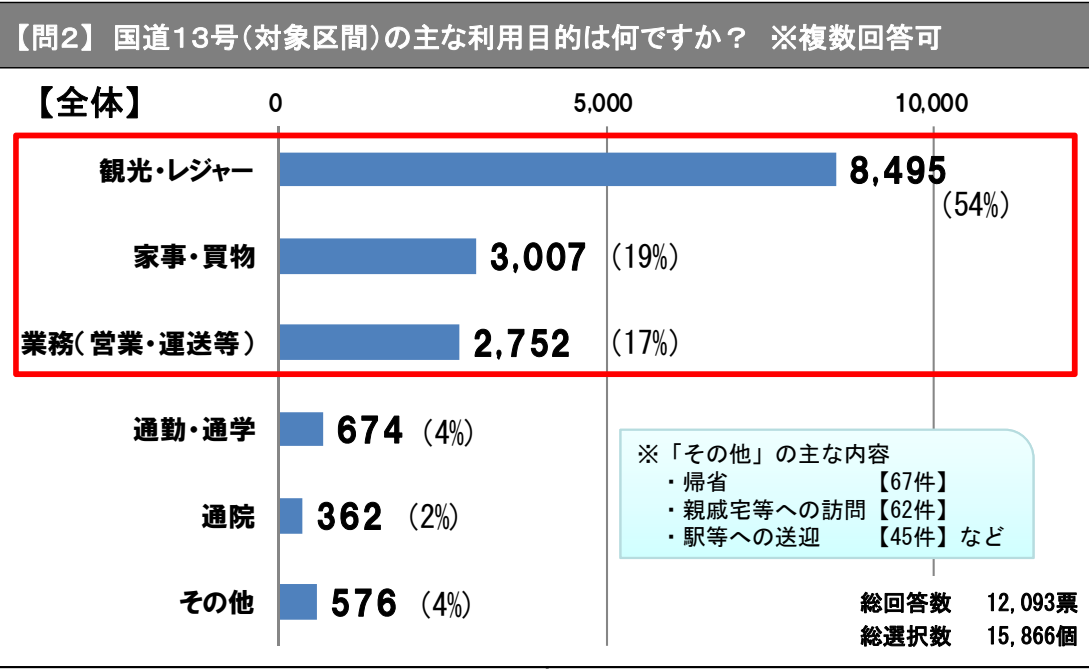
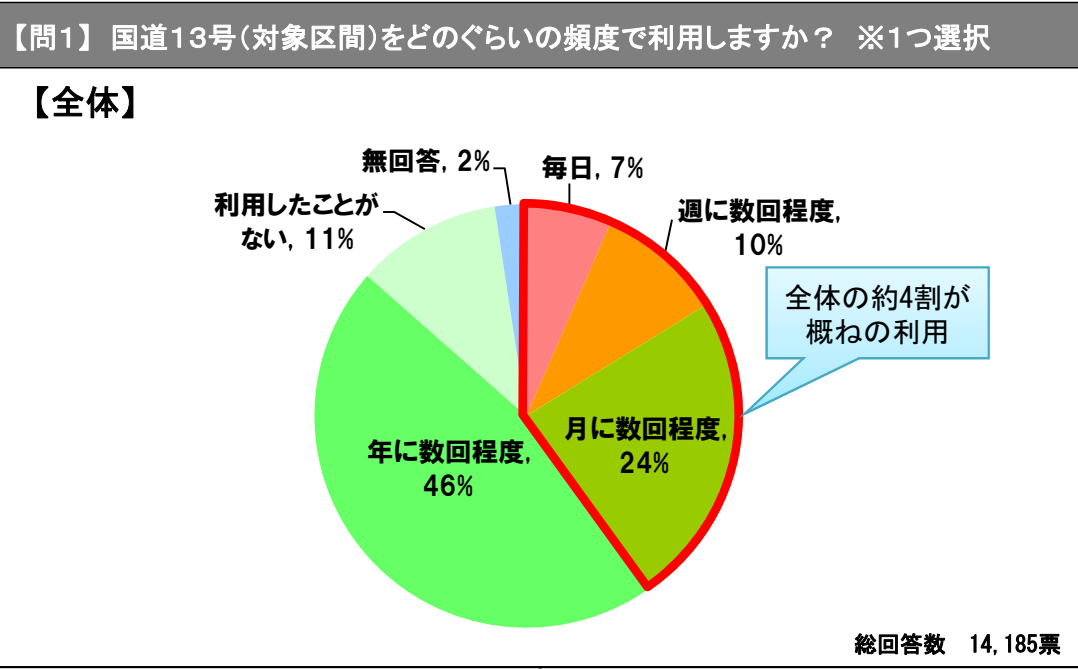
【年齢、職業、性別、免許の有無】



総回答数 14,185票

※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

- 利用頻度は、概ね利用される方が約4割であり、山形県新庄市・金山町・真室川町に比べ、秋田県湯沢市が多い傾向
 - 利用目的は、全体で「観光・レジャー」が最も多く、「家事・買い物」、「業務（営業・運送等）」が次いで多い
 - 地域別では、秋田県湯沢市が、全体に比べて「業務」目的に特徴
- ※その他は、「帰省」、「親戚宅等への訪問」、「駅等への送迎」など

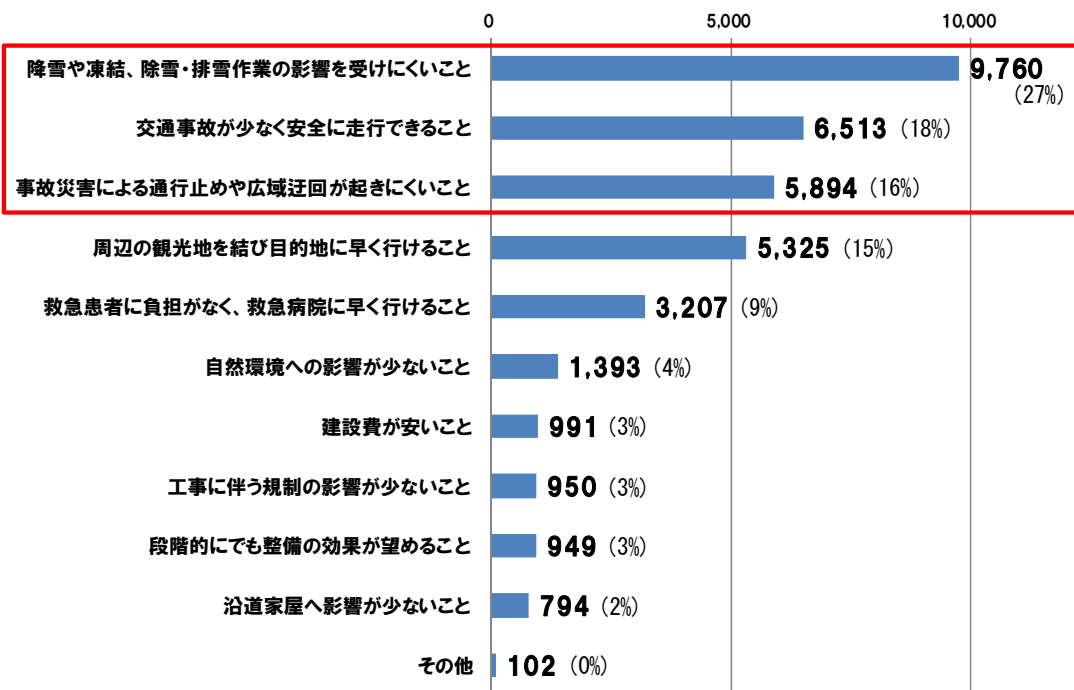


※四捨五入の関係で構成比の合計が100にならない場合がある。

- ❑ 複数のルート帯案の中から地域にとって望ましい案を選ぶ際に重視すべき項目では、「降雪や凍結、除雪・排雪作業の影響を受けにくいこと」が最も多く、次いで「交通事故が少なく安全に走行できること」、「事故災害による通行止めや広域迂回が起きにくいこと」が多い
- ❑ また、地域別でも同様の傾向
※その他は、「道路構造・付帯施設の整備」など

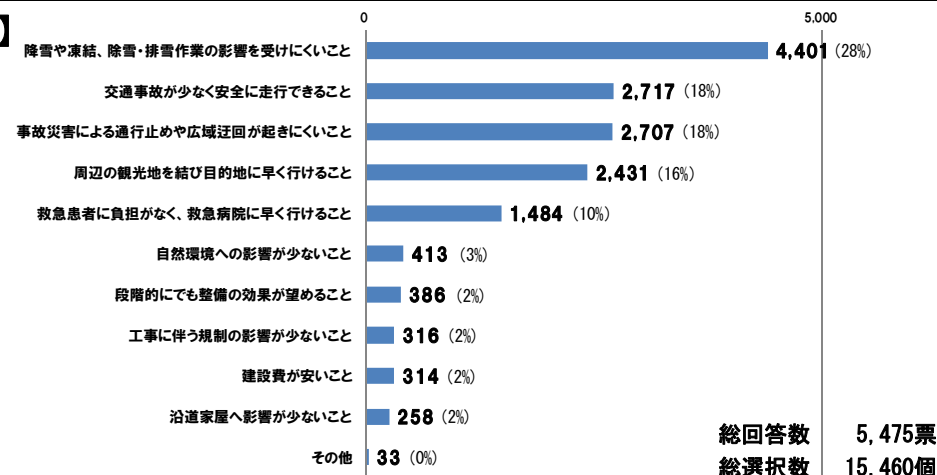
【問3】 今回、複数のルート帯案を検討していますが、地域にとって望ましい案を選ぶ際に重視すべき項目はどれだと思いますか？ ※3つ選ぶ

【全体】



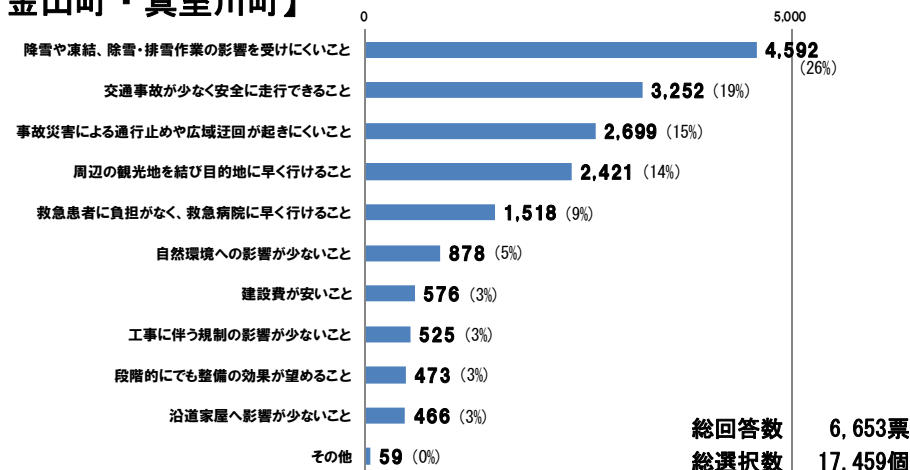
総回答数 13,200票
総選択数 35,878個

【湯沢市】



総回答数 5,475票
総選択数 15,460個

【新庄市・金山町・真室川町】



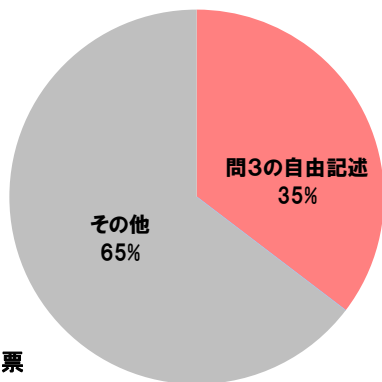
総回答数 6,653票
総選択数 17,459個

2-3. 意見聴取結果（下院内～雄勝こまち）住民アンケート自由意見 8

問3の選択項目に対する具体記述では、除雪の影響回避に関わる記述が最も多く、次いで「安全性の配慮」、「迂回路としての機能確保」と続き、問3と同様の傾向であった

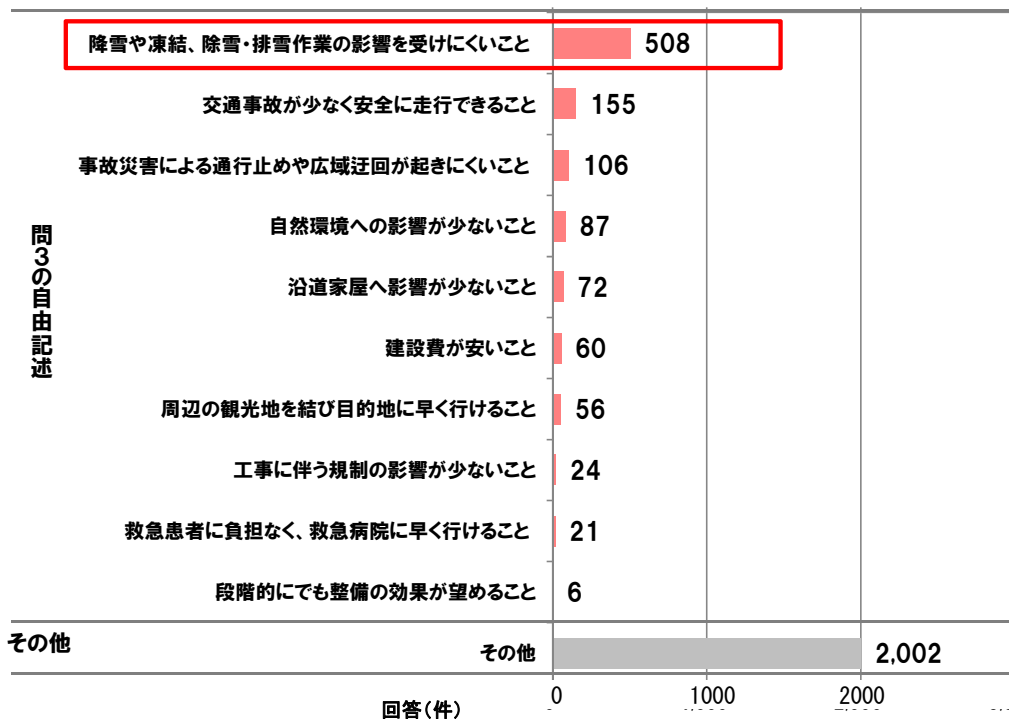
【問4】 問3でチェックした項目について、今後具体的なルートを検討する際に配慮すべき事項があれば、具体的にお聴かせ下さい。 ※自由記述

■分類別意見数



総回答数 3,097票

■意見件数



■主な意見

分類	主な意見
降雪や凍結、除雪・排雪作業の影響を受けにくいこと	<ul style="list-style-type: none"> 冬期間の交通が雪による影響が少ないルートを選んでほしい(秋田県湯沢市/40代男性) 積雪が多い地域のため雪の排雪が少ないように除雪ですむようなルートが良いのでは。(山形県新庄市/50代男性)
交通事故が少なく安全に走行できること	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故が起きないように安全性に配慮すべきだと思います。(秋田県湯沢市/20代女性)
事故災害による通行止めや広域迂回が起きにくいこと	<ul style="list-style-type: none"> 事故や災害の時の迂回路としての機能を重視してほしい。(山形県真室川町/40代男性)
自然環境への影響が少ないこと	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境への影響が少ない事に配慮をお願いします。(秋田県湯沢市/60代男性)
沿道家屋へ影響が少ないこと	<ul style="list-style-type: none"> 沿道家屋への影響が少ないことを希望します。(秋田県湯沢市/50代男性)
建設費が安いこと	<ul style="list-style-type: none"> 建設費が安いルートの検討。(山形県新庄市/40代男性)
周辺の観光地を結び目的地に早く行けること	<ul style="list-style-type: none"> 観光地や道の駅にアクセスしやすいと嬉しい。(秋田県湯沢市/40代女性)
工事に伴う規制の影響が少ないこと	<ul style="list-style-type: none"> 工事期間中の交通規制が最小限である事。(山形県真室川町/40代男性)
救急患者に負担なく、救急病院に早く行けること	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化が進む中で病院利用も増えると考えられる為病院への連絡をやすくして欲しい。(秋田県湯沢市/20代男性)
段階的にでも整備の効果が望めること	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少をくい止めるためにも、早期に着工できるルート方法を探してほしい(秋田県湯沢市/50代男性)

※1人の回答者の方が複数の分類に関する記載をしている場合もあるため、各分類の回答者は重複している。

2-3. 意見聴取結果（下院内～雄勝こまち）住民アンケート自由意見 9

- その他の自由意見では「全線新設道路を望む声」や「全線自動車専用道路を望む声」など、道路整備に関わる意見が多く寄せられている

【問4】 問3でチェックした項目について、今後具体的なルートを検討する際に配慮すべき事項があれば、具体的にお聴かせ下さい。 ※自由記述

分類	主な意見
その他 (2,002件)	<p>●道路整備への意見</p> <p>「新設道路の整備」に関する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>地域のメイン道路であり、地域との重要な連絡道であることから半端な改良では役目を果たす事はできないことから、全線新設で実施すべき</u>である。（山形県真室川町／60代男性） <p>「道路の走行性」に関する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 冬期間における急で長い坂や急で連続するカーブ、下りと曲がりの組み合わせがないようにルートを設定してほしい。（山形県新庄市／60代男性） <p>「自動車専用道路の整備」に関する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>目的地に早く、安全に行ける様、冬道の走りやすさも考えた「自動車専用道路」</u>を望みます。（湯沢市／50代男性） <p>「道路の構造や形状」に関する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トンネルを多くするといいいのではないか（除雪が少なくすむのではないか）。（山形県新庄市／50代男性） ・ 一般道改良の場合は山の道もあるので広めの道路を作ってもらいたい。（秋田県湯沢市／30代女性） <p>「一般道や市街地からのアクセスのしやすさ」に関する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 下院内雄勝こまちの中心に連絡位置をとり国道13号に平行に走行ができればと思います。（山形県真室川町／50代男性） <p>「移動時間の短縮」に関する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集落の回避など、目的地への時間短縮は良いと思う。（秋田県湯沢市／40代女性） <p>「早期着工・早期供用」に関する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広域連携及び主要高速交通体系の整備の一環として早期完工を配慮してほしい。（秋田県湯沢市／50代男性） <p>「新設道路の多車線化整備」に関する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出来るだけ片側二車線にしてほしいが、全線無理であっても、追い越し区間を多く設置してもらいたい。（秋田県湯沢市／50代男性） <p>「道路付帯施設等」に関する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運転者が老人の場合が多く、運転者に走りやすい看板や、走りやすい信号であって欲しいです。（山形県新庄市／70代以上男性） <p>●その他の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 秋田～山形間の交流人口増を目指すべき。ルートを快適にするため、必要な施設整備等も検討してほしい。（秋田県湯沢市／40代女性） ・ 現道一部改良案も出されているが、費用は抑えられるが、工事期間中の規制もあり、必ずしも経済効果が高いとは言えないのではないか。（山形県新庄市／40代男性）

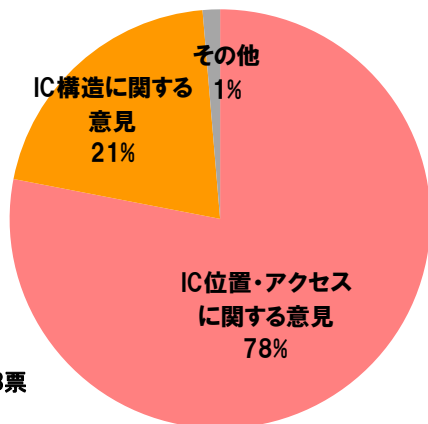
※1人の回答者の方が複数の分類に関する記載をしている場合もあるため、各分類の回答者は重複している。

2-3. 意見聴取結果（下院内～雄勝こまち）住民アンケート自由意見 10

□ インターチェンジなど一般道からの出入りの位置については、「国道13号等主要路線から利用しやすいこと」、「市街地（集落）に近いこと」や「安全に乗り降りができること」に関する意見が多い

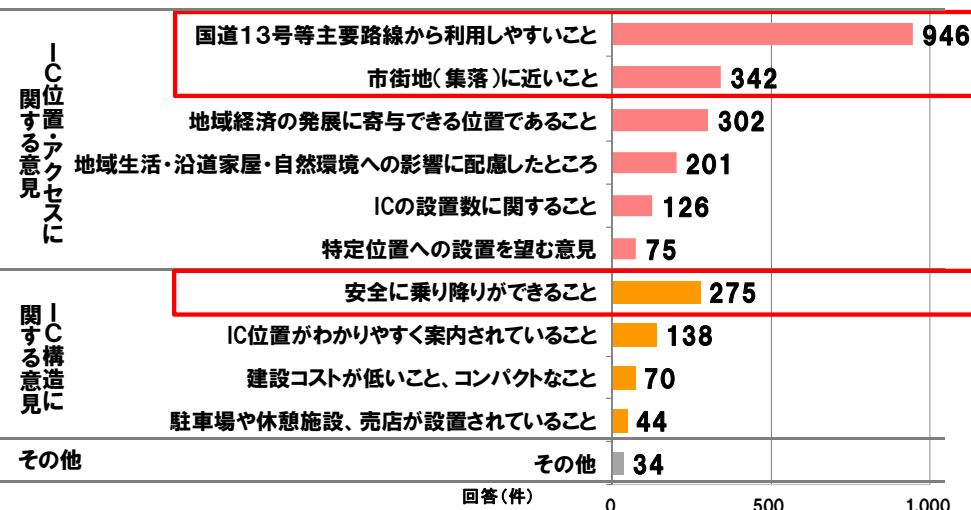
【問5】インターチェンジなどの連絡位置を計画する際、どのような事に配慮すべきと思いますか。 ※自由記述

■分類別意見数



総回答数 2,553票

■意見件数



■主な意見

分類	主な意見	
IC位置・アクセスに関する意見	国道13号等主要路線から利用しやすいこと	<ul style="list-style-type: none"> 接続する一般道への出入りがスムーズに可能なIC。(秋田県湯沢市/40代男性) 国道等一般道からあまり離れすぎない場所であれば良いと思う。(湯沢市/40代女性) 主要道路との連絡が良い場所にしてほしい。(秋田県湯沢市/50代男性)
	市街地(集落)に近いこと	<ul style="list-style-type: none"> 市街地への接続が容易な箇所。(秋田県湯沢市/50代男性)
	地域経済の発展に寄与できる位置であること	<ul style="list-style-type: none"> 院内銀山等の観光資源にアクセスしやすいポイントを望む。(秋田県横手市/50代男性)
ICの設置数に関する意見	地域生活・沿道家屋・自然環境への影響に配慮したところ	<ul style="list-style-type: none"> 集落等を回避し、できるだけ自然環境の保護に努める事。(秋田県湯沢市/40代女性)
	ICの設置数に関すること	<ul style="list-style-type: none"> あまりインターチェンジが多いと事故等多くなり、時間短縮にならないのではないかと。(山形県新庄市/60代男性) 地域の人々が利用しやすい様に、インターチェンジを多くする。(秋田県湯沢市/60代男性)
IC構造に関する意見	特定位置への設置を望む意見	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅おがちと直結出来るようにしてほしい。(秋田県湯沢市/30代男性) 下院内地区にICを設けてもらいたい。(山形県金山町/50代男性)
	安全に乗り降りができること	<ul style="list-style-type: none"> ICのカーブは冬期すべりやすいと思うので配慮してほしい。(秋田県湯沢市/40代男性) 雪国なので出口の滑り止めをお願いします。(山形県新庄市/60代男性)
その他	IC位置がわかりやすく案内されていること	<ul style="list-style-type: none"> 初めて通行する人でも自分の行きたい方向がわかりやすいインターチェンジにしてほしい。(秋田県湯沢市/60代男性)
	建設コストが低いこと、コンパクトなこと	<ul style="list-style-type: none"> インターチェンジは空間を有効に使うことでコンパクトにすること。(山形県新庄市/50代男性) 工事費が安い単純な構造。(山形県新庄市/70代以上男性)
その他	駐車場や休憩施設、売店が設置されていること	<ul style="list-style-type: none"> 休憩施設があること。(秋田県湯沢市/20代女性)
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 地元住民及び地元自治体の意見を積極的に取り入れてほしい。(秋田県湯沢市/50代男性)

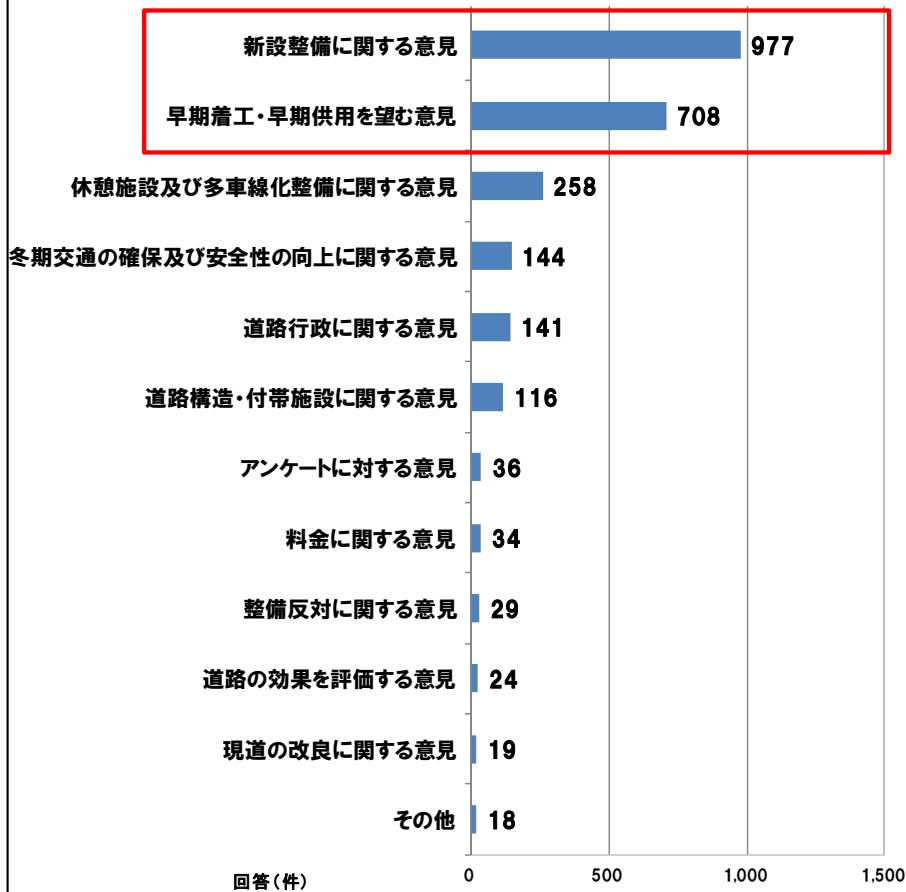
※1人の回答者の方が複数の分類に関する記載をしている場合もあるため、各分類の回答者は重複している。

2-3. 意見聴取結果（下院内～雄勝こまち）住民アンケート自由意見 11

□ これまでの質問以外の自由意見として、道路整備の必要性に対する意見等、以下のような意見が寄せられており、「新設整備に関する意見」や「早期着工・早期供用を望む意見」に関する意見が多い

【問6】 これまでの質問以外に、ご意見がありましたらお聴かせ下さい ※自由記述

■意見件数



総回答数 2,504票

■主な意見

分類	主な意見
新設整備に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> 東北中央自動車道の整備は安全な道路環境の確保による目的地への移動時間短縮に繋がるとともに地域の活性化となるので確実に進めてほしい。全線新設を希望する。(秋田県湯沢市/60代男性) 院内道路と湯沢横手道路との連続性を考えて、自動車専用道路としてほしい。(山形県山形県内/30代男性)
早期着工・早期供用を望む意見	<ul style="list-style-type: none"> この地域は豪雪地帯でありますので特に冬期間の利用は控えている現状です。早期着工、早期完成を強く望みます。(秋田県湯沢市/50代男性)
休憩施設及び多車線化整備に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> せっかく望ましいルートが出来ていても、それを利用する人々の休憩施設など、快適に利用出来る設備が欲しい。(秋田県湯沢市/20代女性)
冬期交通の確保及び安全性の向上に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> いづれにしても降雪量の多い地域です。雪における安全対策を(カーブ、標識等)充分に行い安心して走行できる道路を出来るだけ早く作ってほしい。(山形県新庄市/70代以上男性)
道路行政に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> これからの時代は、湯沢市を含め横手から新庄市までをひとつの生活圈と位置づけした道路行政を考えて欲しいです。(秋田県湯沢市/70代以上男性)
道路構造・付帯施設に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> 自動車道として機能が十分発揮できる構造、線形でありたい。(山形県新庄市/50代男性) 目的地への標識が見やすく明確さが望まれる。(山形県新庄市/70代以上男性)
アンケートに対する意見	<ul style="list-style-type: none"> 日頃、思っていることを、気楽に書けるかと思いアンケートに参加したのですが、なかなか専門的な表現が多くて、答えるのがむずかしいです。(山形県真室川町/60代女性)
料金に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> 自動車道ができて有料であれば利用することが少ない。この地域間は無料区間にしてほしい。(山形県金山町/40代男性)
整備反対に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> 危機的財政面からも、新現道路の建設は中止し、現行の道路の活用をすべきと考えます。今後は道路の利用者数も大幅に減少をしていくはずです。(山形県新庄市/60代男性)
道路の効果を評価する意見	<ul style="list-style-type: none"> この道路が完成することによって、秋田県へ出かける機会が増えると思います。東北をつなぐ主要道路として期待しています。(真室川町/30代男性)
現道の改良に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> 片側1車線の専用道を作るなら現在の道路を広くしてもらいたい。(秋田県湯沢市/60代男性)
その他	<ul style="list-style-type: none"> 供用年次を示してほしい。(山形県新庄市/70代以上男性)

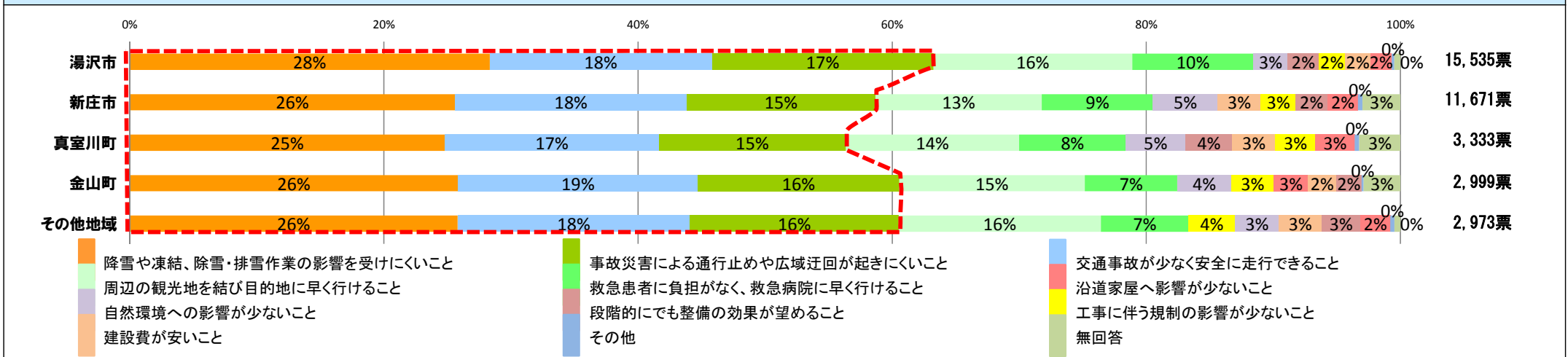
※1人の回答者の方が複数の分類に関する記載をしている場合もあるため、各分類の回答者は重複している。

2-3. 意見聴取結果（下院内～雄勝こまち）住民アンケート自由意見 12

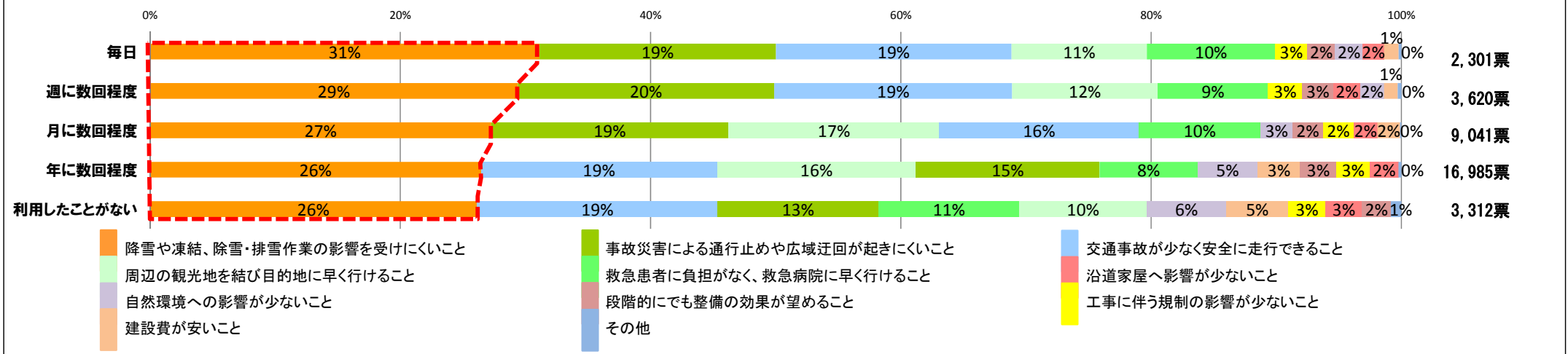
□すべての地域で、「降雪や凍結、除雪・排雪作業の影響を受けにくいこと」「事故災害による通行止めや広域迂回が起きにくいこと」「交通事故が少なく安全に走行できること」が多く、全ての地域で同様の傾向

□道路の利用頻度が高いほど、「降雪や凍結、除雪・排雪作業の影響を受けにくいこと」を重視している

ルート帯検討の際に重視すべき項目と居住地のクロス集計結果



ルート帯検討の際に重視すべき項目と利用頻度のクロス集計結果

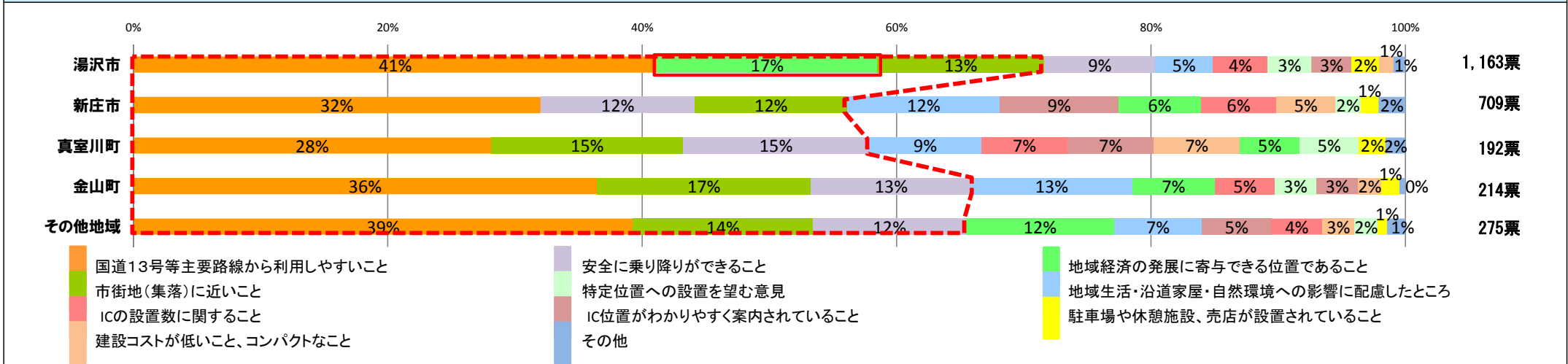


2-3. 意見聴取結果（下院内～雄勝こまち）住民アンケート自由意見 13

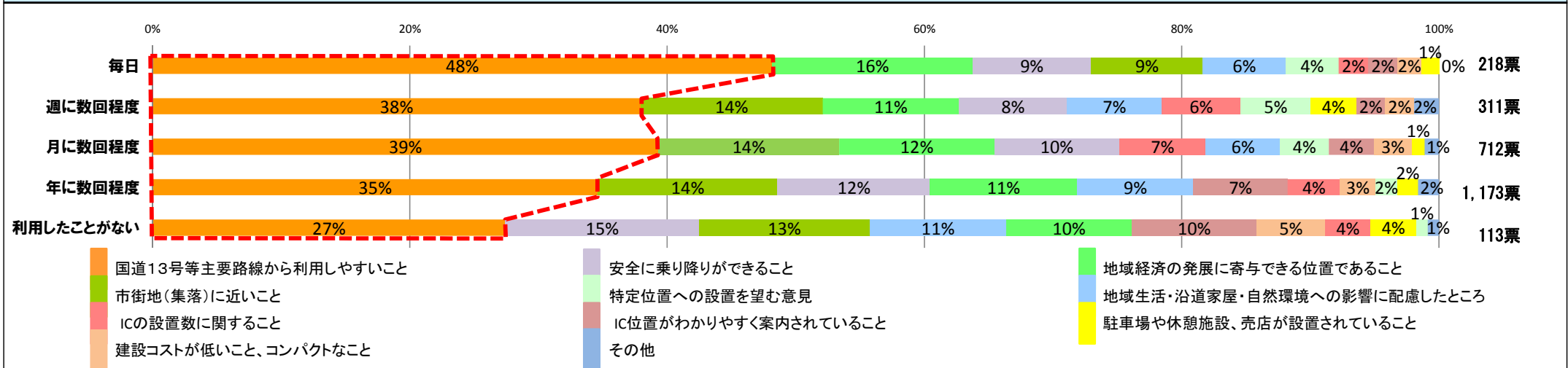
□ほとんどの地域で「国道13号等主要路線から利用しやすいこと」「市街地に近いこと」「安全な乗り降り」を重視する中で、湯沢市では「地域経済の発展に寄与する位置であること」を重視する声が多い

□道路の利用頻度が高いほど、「国道13号等主要路線から利用しやすいこと」を重視している

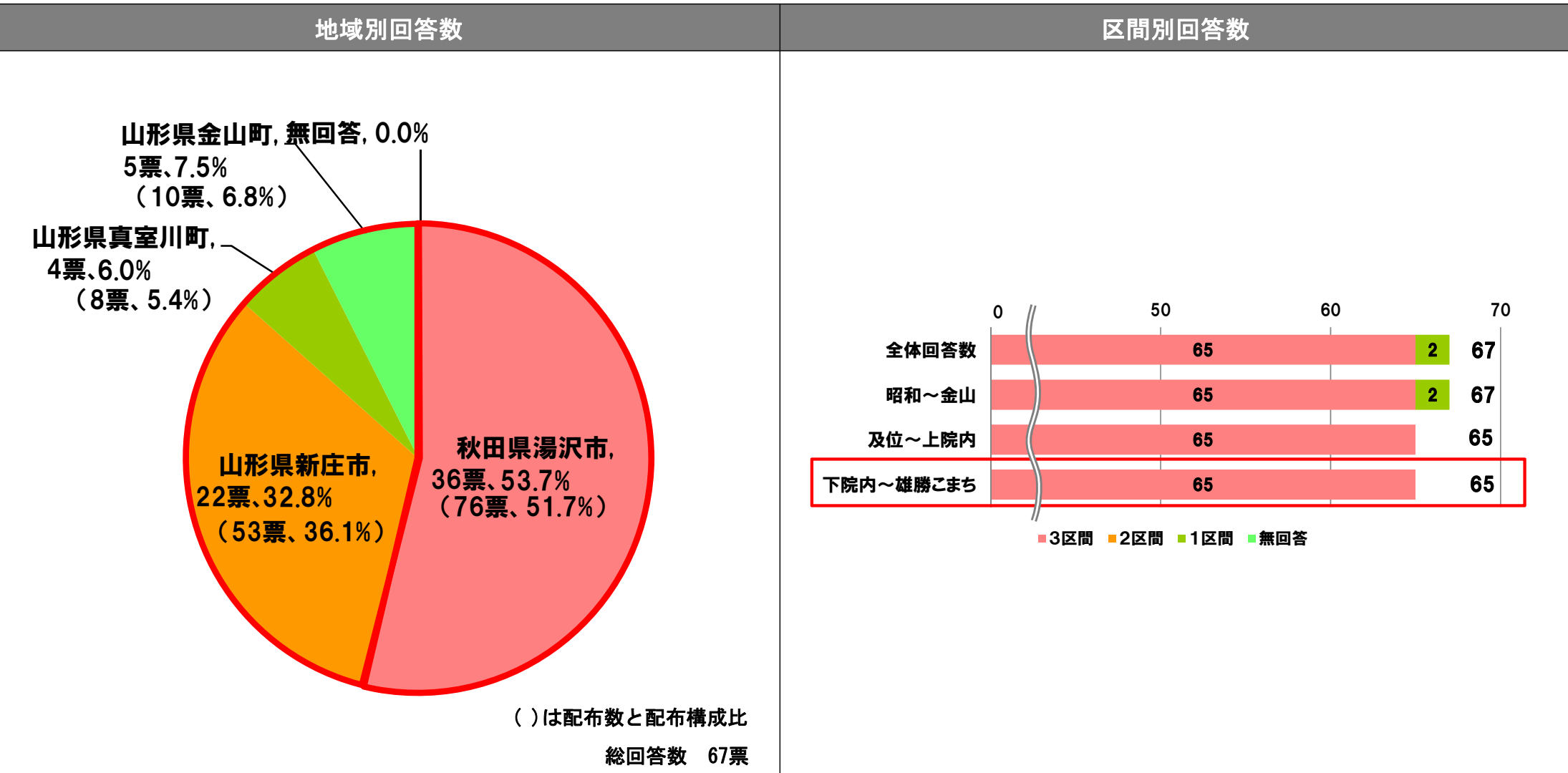
インターチェンジ計画の際に配慮すべき項目と居住地のクロス集計結果



インターチェンジ計画の際に配慮すべき項目と利用頻度のクロス集計結果



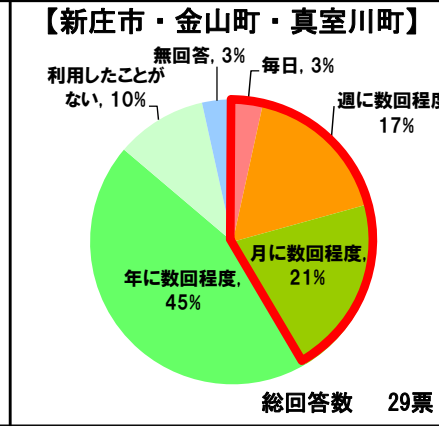
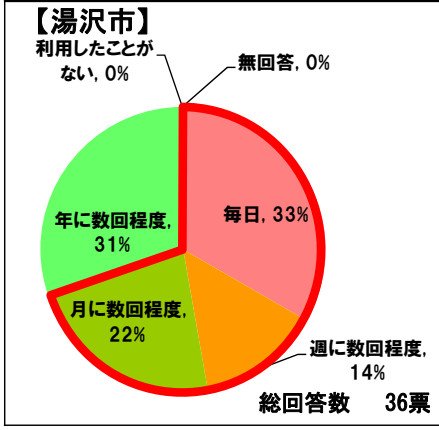
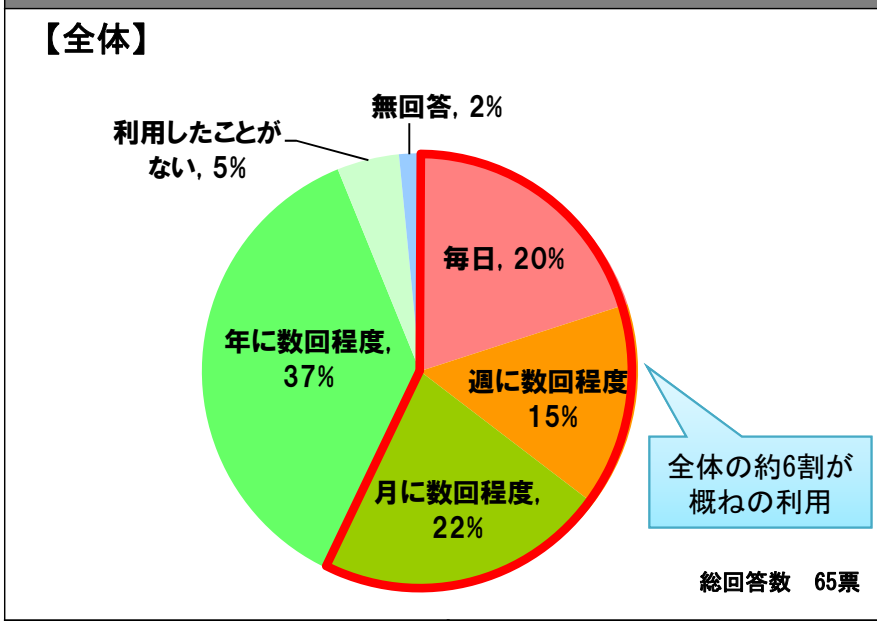
- 総回答数67票であり、秋田県側、山形県側ともほぼ半数
- 区間別回答数は、9割以上の企業が3区間に回答
- 全体回答数のうち、「下院内～雄勝こまち」は全体回答数の約9割以上（65票）



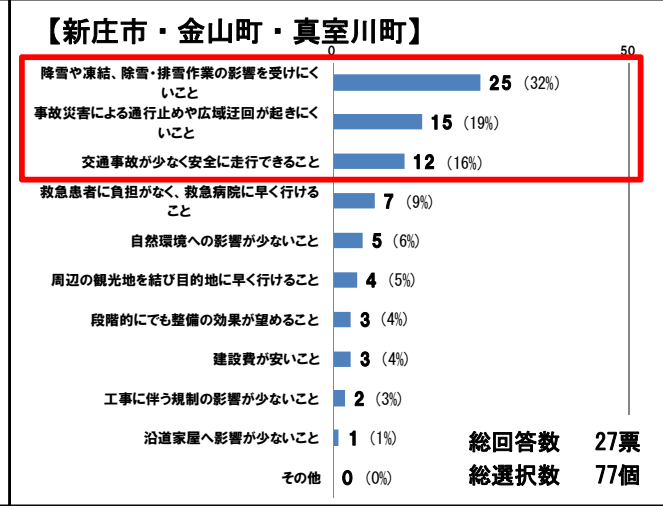
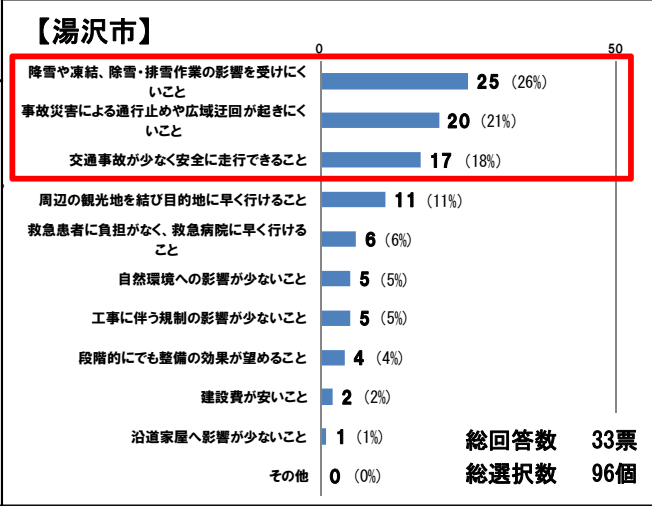
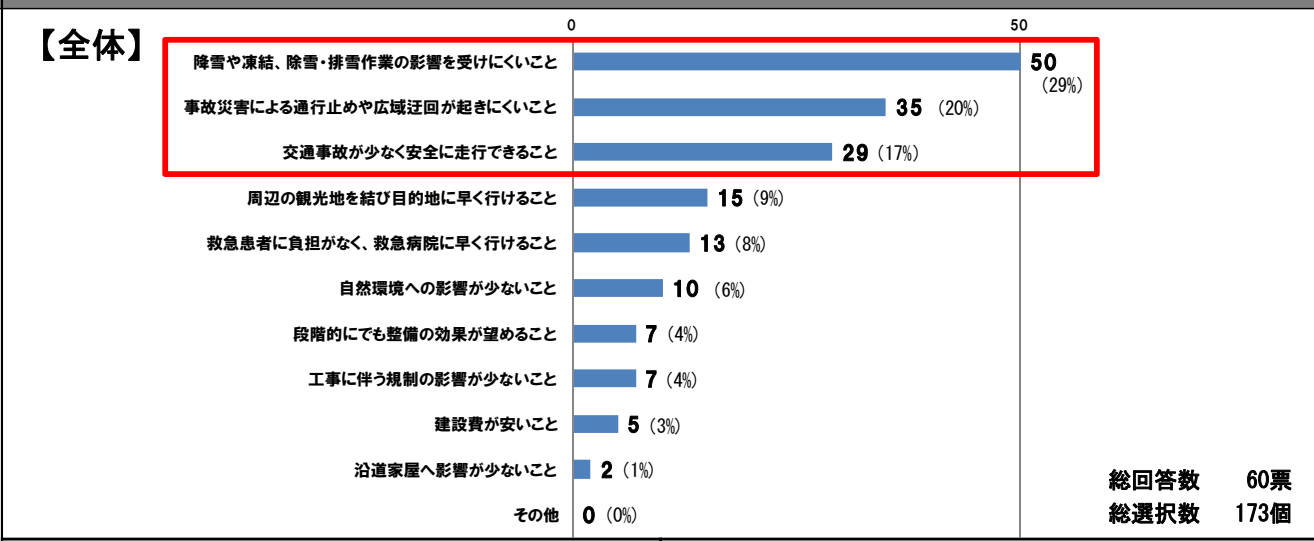
※四捨五入の関係で構成比の合計が100にならない場合がある。

- 利用頻度は、概ね利用される企業が約6割であり、山形県新庄市・金山町・真室川町に比べ秋田県湯沢市が多い
- 複数のルート帯案の中から地域にとって望ましい案を選ぶ際に重視すべき項目では、住民アンケートと同様の3項目であった

【問1】 国道13号(対象区間)をどのぐらいの頻度で利用しますか？
※1つ選ぶ



【問3】 今回、複数のルート帯案を検討していますが、地域にとって望ましい案を選ぶ際に重視すべき項目はどれだと思われますか？ ※3つ選ぶ

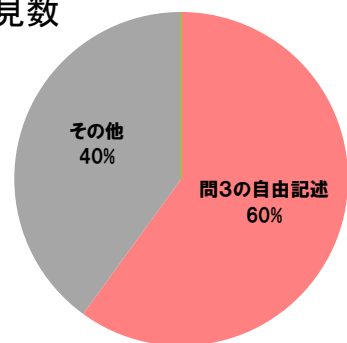


2-4. 意見聴取結果（下院内～雄勝こまち）企業アンケート自由意見 16

□ 具体的なルートを検討する際に配慮すべき事項についての自由意見では、「冬期交通環境の改善」や「道路線形等の改良」を望む声が多く、インターチェンジ位置を計画する際の配慮事項では、「主要幹線道路からの乗り入れのし易さ」を望む声が多かった。また、その他の自由意見では、「早期整備」と「高速道の整備」要望が多い

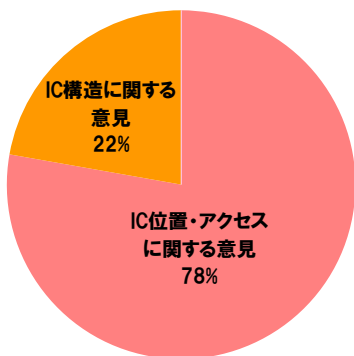
【問4】 問3でチェックした項目について、今後具体的なルートを検討する際に配慮すべき事項があれば、具体的にお聴かせ下さい。 ※自由記述

■ 分類別意見数



【問5】インターチェンジなどの連絡位置を計画する際、どのような事に配慮すべきと思いますか。 ※自由記述

■ 分類別意見数



【問4】	主な意見
問3の自由記述	<ul style="list-style-type: none"> 降雪や凍結、除雪・排雪作業の影響を受けにくいこと 多雪地区なので、カーブ等のない走りやすいルート（勾配も含めて）（山形県新庄市／製造業） 周辺の観光地を結び目的地に早く行けること 観光振興において、遠方からの利用者を誘客できるよう寄与されることを期待する。（秋田県湯沢市／観光業） 交通事故が少なく安全に走行できること 新庄～山形までの通過点なので、安全で早く通過したい。（秋田県湯沢市／観光業） 工事に伴う影響が少ないこと 13号、108号とも生活道路として最も重要な路線であるので、工事などで通行止や渋滞がないようにして下さい。（秋田県湯沢市／観光業）
その他	<ul style="list-style-type: none"> 緩やかなカーブと、橋脚等の継ぎ目の段差のショックにも配慮していただきたい。（秋田県湯沢市／消防） 道の駅おがちへのアクセス。（秋田県湯沢市／製造業）

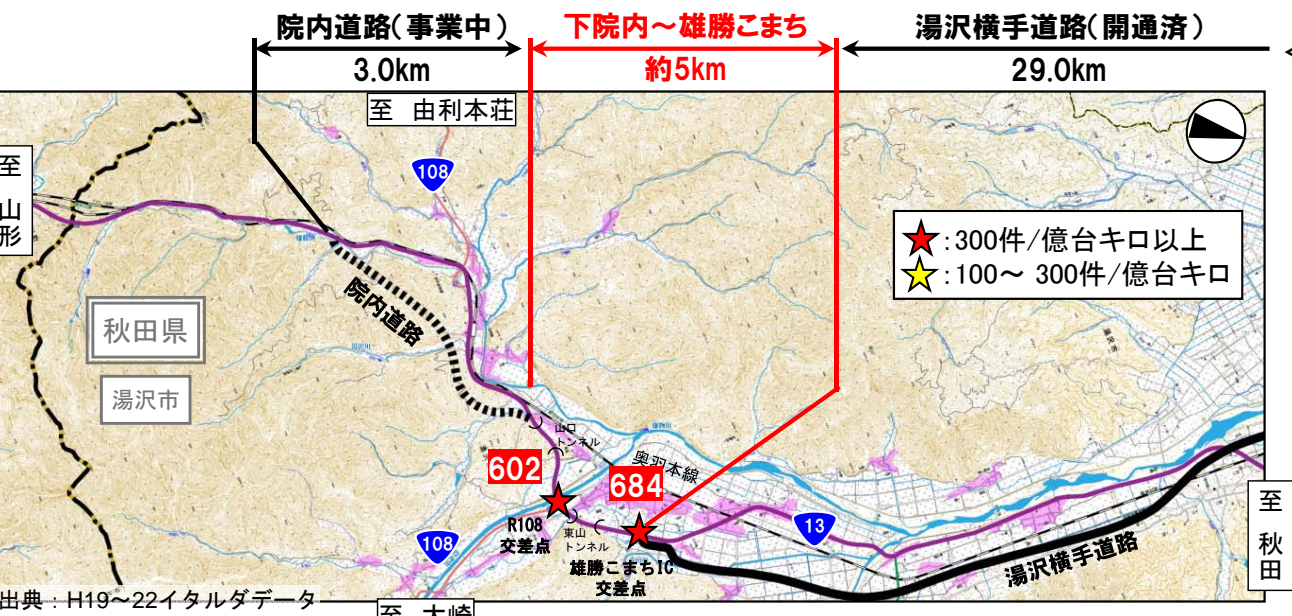
【問5】	具体的な意見
IC位置・アクセスに関する意見	<ul style="list-style-type: none"> 現存幹線道路が近くにある事（ICが既存の幹線道路の近くにあること）。ICの距離間を短縮し使いやすいように。（山形県新庄市／製造業） なるべく自然環境を破壊せずすむように配慮願いたい。（秋田県湯沢市／観光業） 無料なのであれば、こまかく設置しても良いと思う。（山形県新庄市／救急） 病院その他重要施設を考慮した位置としていただきたい。（湯沢市／消防）
IC構造に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> 一般道からスムーズに乗れる様にして欲しい。（秋田県湯沢市／観光業） 出口表示には具体的な先行の表示が必要（特に地域外の方には解りにくい）（秋田県湯沢市／製造業）

【問6】 これまでの質問以外に、ご意見をお聴かせ下さい。 ※自由記述	
早期整備要望	<ul style="list-style-type: none"> 高速が全面開通しないと利用率も上がらないと思うので、なるべく早く開通するよう進めてほしい。（秋田県湯沢市／観光業）
ルート整備要望	<ul style="list-style-type: none"> 高速道の必要性は地域間の時間の短縮にあるので、サービス速度は80kmにしないと効果が出ない。（山形県新庄市／製造業）
道路整備要望	<ul style="list-style-type: none"> できれば無料であればよいと思う。（秋田県湯沢市／製造業）
その他	<ul style="list-style-type: none"> あまり利用する人がいないと思うので、ムダなお金をかけない方がいいと思います。（秋田県湯沢市／製造業）

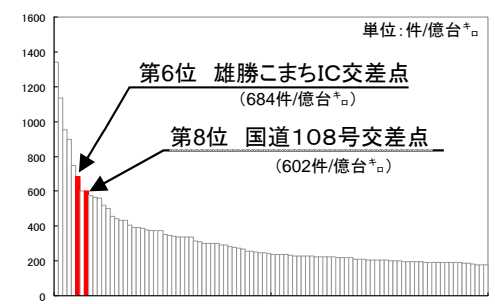
- 企業ヒアリングにおいて、ルート帯及びインターチェンジ位置を検討するうえで配慮すべき事項について、以下のような意見が寄せられた

分類	主な意見
ルート帯に関する意見 降雪や凍結、除雪・排雪作業の影響を受けにくいこと 事故災害による通行止めや広域迂回が起きにくいこと 救急患者に負担なく、救急病院に早く行けること 周辺の観光地を結び目的地に早く行けること	<ul style="list-style-type: none"> 湯沢からの物流は主に関東方面であり時間勝負な側面が強い。<u>全て国道13号を南下し、東根ICや山形北ICより東北自動車道を利用して東京都中央卸売市場（大田市場）に出荷しているが、夏は8時間程度だが冬は遅れがちのため運行計画が夏と冬で変えざるを得ない。1日の運転時間が9時間と決まっているため冬も9時間を超えないようにしなければならず新設整備でスムーズに行ける道路の整備を願いたい。</u>（秋田県湯沢市／物流事業者） 東京への職員の出張では、<u>新幹線で行くため新庄駅まで車で行く。</u>国道13号を利用して駅まで向かっているが、山形側は主寝坂道路の整備等により非常に利用しやすくなった。ただ、<u>冬はまだ時間が読めない状況のため、改善して欲しい</u>と思っている。（秋田県湯沢市／学校） 横堀雄勝地域の生徒の日常生活を考えれば、将来、交通量が増えたとすれば、交通量が分散されるような整備が理想かと思う。（秋田県湯沢市／学校） 高規格道路の整備については、<u>県境や八丁新町方面から雄勝中央病院のある雄勝こまちIC以北への救急搬送の安定性向上が期待される。</u>しかし、現道を活用するとなると安定性の低下が懸念されるため、新設ルートによる整備が望ましい。（秋田県湯沢市／消防） また、救急搬送では、<u>時間短縮はもとより、移動中に点滴を行う場合があるため、ブレーキによる停発進、上下の揺れを抑えることが重要</u>である。このため道路が良くなることが救急搬送上最も有効と考えている。（秋田県湯沢市／消防） 現道は、冬の朝夜は路面がガタガタになる。お客さんの送迎で、冬は時間が読めないため30分程度早めに出発するなどに対応しているため、特に冬、お客さんの移動時間が短く安全になるような整備をお願いしたい。（秋田県湯沢市／観光事業者）
インターチェンジに関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ICの位置については、<u>現在整備が進んでいる区間で現道に接続している箇所に設置されればよい</u>と思う。（秋田県湯沢市／商工会議所） 下院内～雄勝こまち間では、市街地にアクセスしやすいところがよいと思うため、<u>院内道路と接続する下院内あたりがよい</u>と思う。（秋田県湯沢市／学校） 湯沢横手道路は、湯沢IC～三関IC～須川IC～雄勝こまちICが間隔が短く、救急搬送においては利用しやすい。さらに、救急車緊急退出路が整備されたおかげで利用しやすくなっている。従って、今後新設整備にあたっては、極力、不平等が生じないようにICが整備された方がよい。下院内～雄勝こまち間では、<u>八丁新町方面や国道108号（由利本荘方面）の救急搬送時に配慮し、下院内あたりにインターチェンジを置くことが望ましい</u>と思う。（秋田県湯沢市／消防）
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> 農産物出荷においては、今年から連続運転時間が厳格化されたため、極力、時間短縮になる道路の整備がよいと考える。（秋田県湯沢市／物流事業者）

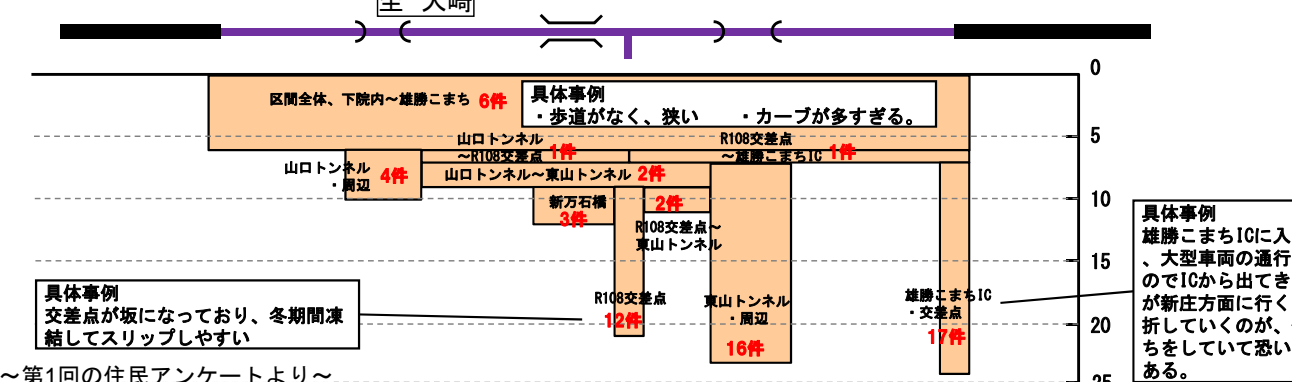
- 対象区間において、死傷事故率が高い箇所（全国平均100件/億台キロ以上）が2箇所存在（県内トップクラス）
- 事故類型では交差点事故が多く、信号交差点での追突事故が大半。また、重大事故の割合も高い
- 雄勝こまちIC交差点やR108交差点、東山トンネル部にかけてヒヤリ体験についての意見が多く寄せられた



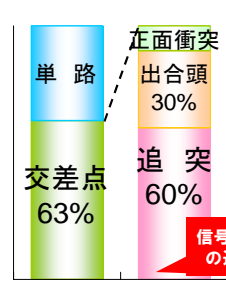
＜死傷事故率(秋田県内直轄国道)＞



出典: H19~22イタルデータ [雄勝こまちIC付近での事故状況]



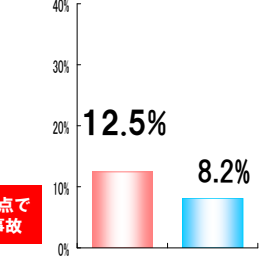
＜事故類型＞



＜類型①＞＜類型②＞

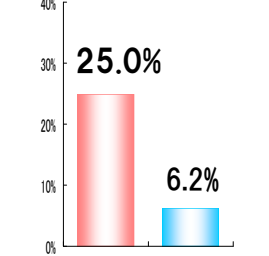
出典: ITARDAデータ (H19~H22)

＜重大事故割合＞ (通年)



出典: ITARDAデータ (H19~H22)

＜重大事故割合＞ (冬期)



出典: ITARDAデータ (H19~H22)

※冬期: 12月~2月

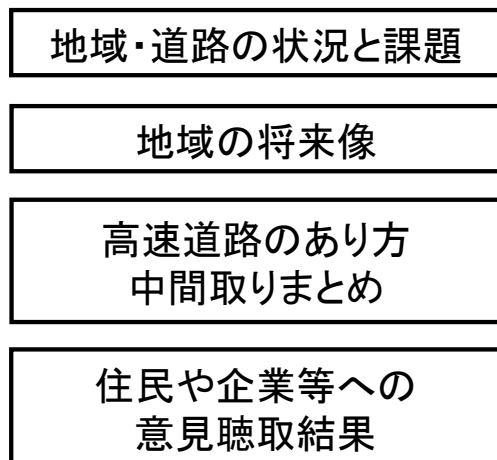
安全性に対する意見

- ・ 町が近く交通量が多いと思うので、事故が起こりにくいようにルートを考えてほしい。
(秋田県湯沢市/40代男性)
 - ・ 雄勝こまちIC入口は、冬期になると2m程度の堆雪となり、車からも歩行者からもお互いがまったく見えなくなる箇所である。
(秋田県湯沢市/教育機関)
- ~第1回の企業ヒアリングより~

3-1. ルート帯案の検討（政策目標と対策案）（下院内～雄勝こまち）19

- 当該地域の道路交通の現況や、地域の課題等を踏まえ政策目標を設定し、政策目標を達成するための機能を有する対策案を複数設定
- 対策案を検討するうえでは、沿線住民の生活環境や自然環境、コストなどを配慮

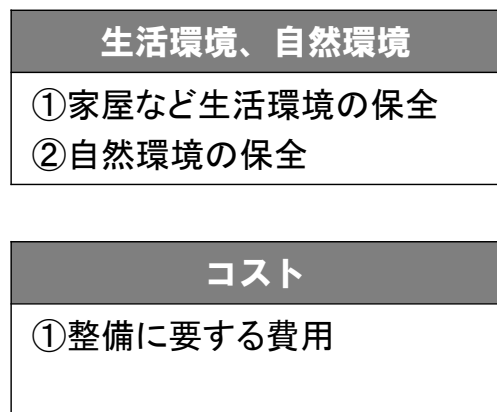
○当該地域の政策目標を確定



政策目標

- 冬期交通環境の改善
- 信頼性の高い道路ネットワークの確保
- 医療施設への速達性の向上、安静搬送の実現
- 地域連携の強化による観光流動等の活性化
- 安全な道路環境の確保

○対策案を検討する上での配慮事項



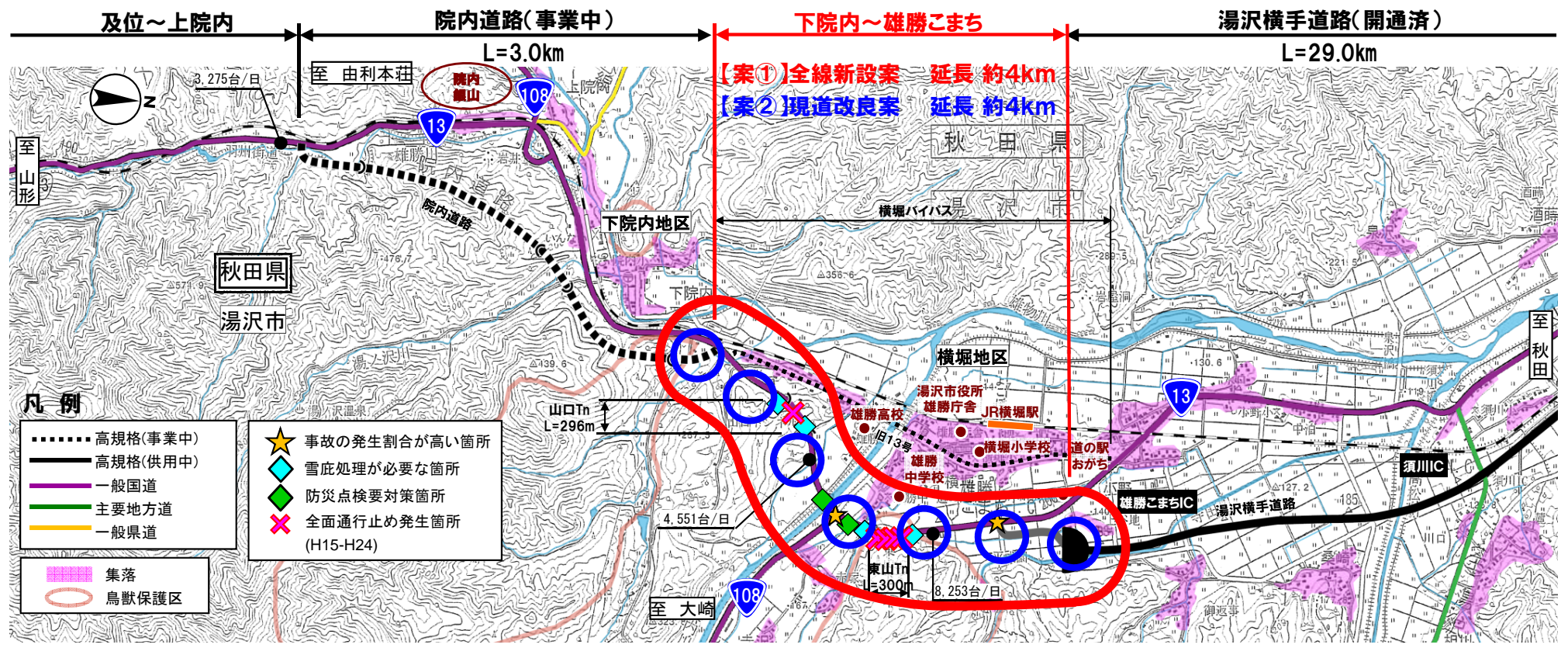
○政策目標を達成するための考えられる対策案

全線新設案

全線で新しく自動車専用道路を整備する案
(サービス速度80km/hの自動車専用道路)

現道改良案

ほぼ全線で現道を改良する案
(サービス速度60km/hの一般道路)



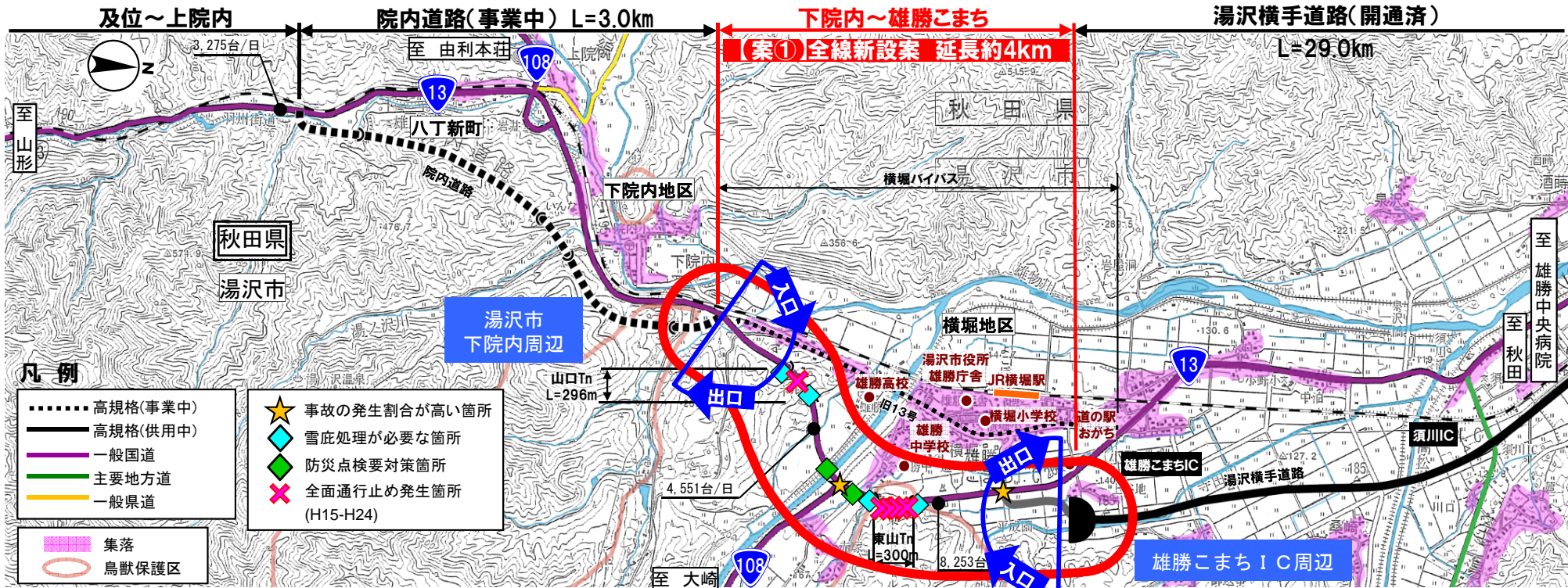
3-1. ルート帯案の検討（複数案の比較・評価）（下院内～雄勝こまち）21

【案①】全線新設案は、【案②】現道改良案に比べ、全ての政策目標の達成が見込めるほか、意見聴取においてルート帯案を検討する際に、重要視すべきとの回答が多かった「降雪や凍結、除雪・排雪作業の影響を受けにくいこと」や「事故災害による通行止めや広域迂回がおきにくいこと」、「交通事故が少なく安全に走行できること」という点で優れている

評価項目		自動車専用道路（サービス速度80km/h）	一般道路（サービス速度60km/h）
項目	指標	【案①】全線新設案（延長＝約4km）	【案②】現道改良案（延長＝約4km）
政策目標	冬期交通環境の改善	雪庇処理箇所を回避可能 ⇒軽減が大きい	○ 雪庇処理箇所を回避または改良 ⇒軽減が大きい
	信頼性の高い道路ネットワークの確保	事故・災害による通行止めの影響（待機や迂回）	○ 迂回路として機能 ⇒影響が大きく改善 ○ 新たな道路は構築されない ⇒影響は残る
	医療施設への速達性の向上、安静搬送の実現	医療施設までの搬送時間や患者への負担（信号交差点の影響）	○ 交差が制限される自動車専用道路を整備 ⇒効果が大きく見込める ○ 一般道路だが交差点を立体化 ⇒効果が見込める
	地域連携の強化による観光流動等の活性化	観光地への立寄箇所や滞在時間の増加（広域的な時間短縮等）	○ 時間短縮が大きく、定時性が向上 ⇒増加が見込まれる ○ 時間短縮が小さく、定時性はあまり変わらない ⇒増加はさほど見込まれない
	安全な道路環境の確保	交通事故の発生リスク	○ 自動車専用道路と現道で交通を分散 ⇒軽減が大きい ○ 課題箇所では交差点を立体化 ⇒軽減が大きい
道路整備による影響	生活環境	沿道家屋への影響	○ 集落等を回避 ⇒影響が小さい ○ 沿線の集落等を拡幅等により改良 ⇒影響がある
	自然環境	自然の改変	△ 全線において道路を新設 ⇒改変がある △ 全線で現在の国道を改良 ⇒改変は小さい
	早期効果の発現	発現の時期	△ 部分的な効果発現が困難 △ 開通したところから効果発現が見込める
	工事の影響	現道交通への影響	○ 現道での規制が少ない ⇒影響はほとんどない ○ 現道の改良に伴い規制が発生 ⇒影響が大きい
	コスト	整備に要する費用	約80～130億円

【凡例】 ○：改善・満足する △：一部改善・満足する ×：他案に比べて劣る

- 自動車専用道路の国道13号院内道路と湯沢横手道路を新たに自動車専用道路で結ぶことで、国道13号の課題である事故発生割合の高い箇所、除排雪作業に伴う交通規制、通行止めによる企業活動への影響を解消し、定時性と速達性が図られる【案①】全線新設案とする



沿線市町村及び住民・企業への意見聴取、企業ヒアリングの主な意見

- 【ルート帯について】**
- 冬期間の交通が雪による影響が少ないルートを選んで欲しい。
 - 事故や災害の時の迂回路としての機能を重視してほしい。
 - 目的地に早く、安全に行ける様、冬道の走りやすさも考えた「自動車専用道路」を望みます。
- 【インターチェンジについて】**
- 国道等一般道からあまり離れすぎない場所にあれば良いと思う。
 - 市街地への接続が容易な箇所。
 - 院内银山等観光地や道の駅にアクセスしやすいと嬉しい。

ルート帯とインターチェンジの考え方

- 【ルート帯案の考え方】**
- 冬期の影響を受けにくく、通行止め時等の迂回路として機能し、安全かつ速達性を考慮した、自動車専用道路による新設ルートとする。
- 【インターチェンジの考え方】**
- 国道13号などの主要路線から利用しやすいこと、集落に近いこと、安全な乗り降りができること、地域経済の発展に寄与する観光地等へのアクセスに配慮した配置案とする。

■意見照会の回答（要旨）

自治体名	意見
秋田県	<p>計画段階評価に係る（及位～上院内、下院内～雄勝こまち）について、対応方針（原案）の内容に同意します。</p> <p>なお、当該区間につきましては、必要な予算を確保の上、一日も早い全線開通が図られるよう、特段の御配慮をお願いいたします。</p>

■自治体意見照会の回答（秋田県知事）

道 1383
平成26年10月31日

国土交通省東北地方整備局長 様

秋 田 県 知 事



道路事業の計画段階評価に係る意見照会について（回答）

本県道路行政につきましては、日頃格別の御協力をいただき感謝申し上げます。

平成26年10月30日付け国東整道一計第26号で照会のあったこのことについては、次のとおりです。

計画段階評価に係る（及位～上院内、下院内～雄勝こまち）について、対応方針（原案）の内容に同意します。

なお、当該区間につきましては、必要な予算を確保の上、一日も早い全線開通が図られるよう、特段の御配慮をお願いいたします。

担当：秋田県建設部道路課

調整・企画管理班 浅井、備前

TEL 018-860-2483

FAX 018-860-3837

1. 道路整備の必要性

【理由】

政策目標を実現できる道路整備を検討

【政策目標】

- 冬期交通環境の改善
- 信頼性の高い道路ネットワークの確保
- 医療施設への速達性の向上、安静搬送の実現
- 地域連携の強化による観光流動等の活性化
- 安全な道路環境の確保



○対象地域の当該区間は、全国で有数の豪雪地帯を通過するほか、県内トップクラスの高い死傷事故率を有しているなど冬期の信頼性や速達性が課題であり、地域の産業や観光流動の活性化を支援するためには、定時性と速達性が図られる道路整備が急がれる。

○住民アンケートや企業ヒアリング等においても、冬期の影響を受けにくく、通行止め時の迂回路として機能し、安全かつ速達性の高い道路が必要という意見が多く、このような政策目標を早期に実現できる道路が望まれている。

2. 対応方針（案）

（1）ルート帯について

『案①』を対応方針（案）とする。

【理由】

○【案①】全線新設案は、【案②】に比べ、全ての政策目標の達成が見込め、特に冬期交通環境の改善に優れているほか、信頼性が高く、安全な道路環境を確保する道路ネットワークを形成する。

○地域への意見聴取結果からも、「降雪や凍結、除排雪作業に伴う交通への影響を受けにくいこと」、「事故が少なく安全に走行できること」、「事故災害による通行止めや広域迂回が起きにくいこと」を望む意見が多く、【案①】は、地域のニーズにも応えられる。

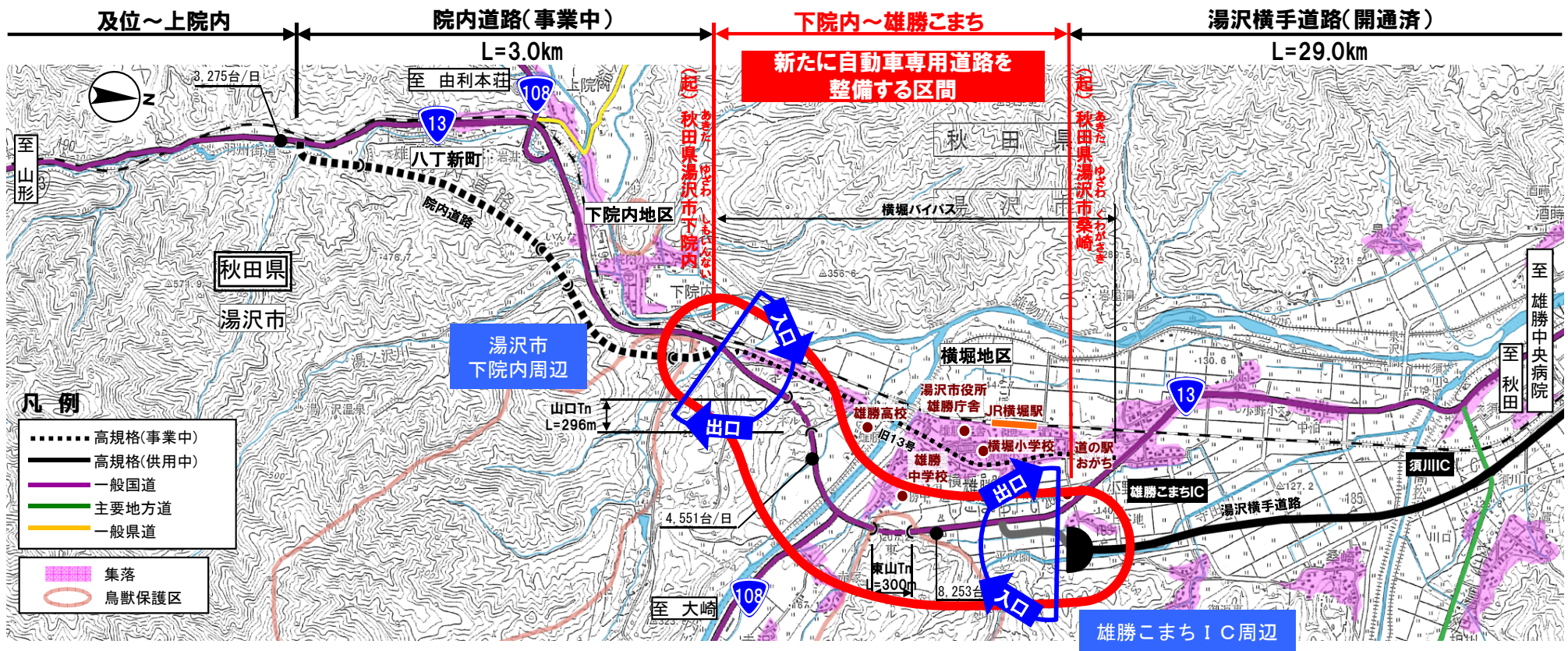
（2）インターチェンジ位置について

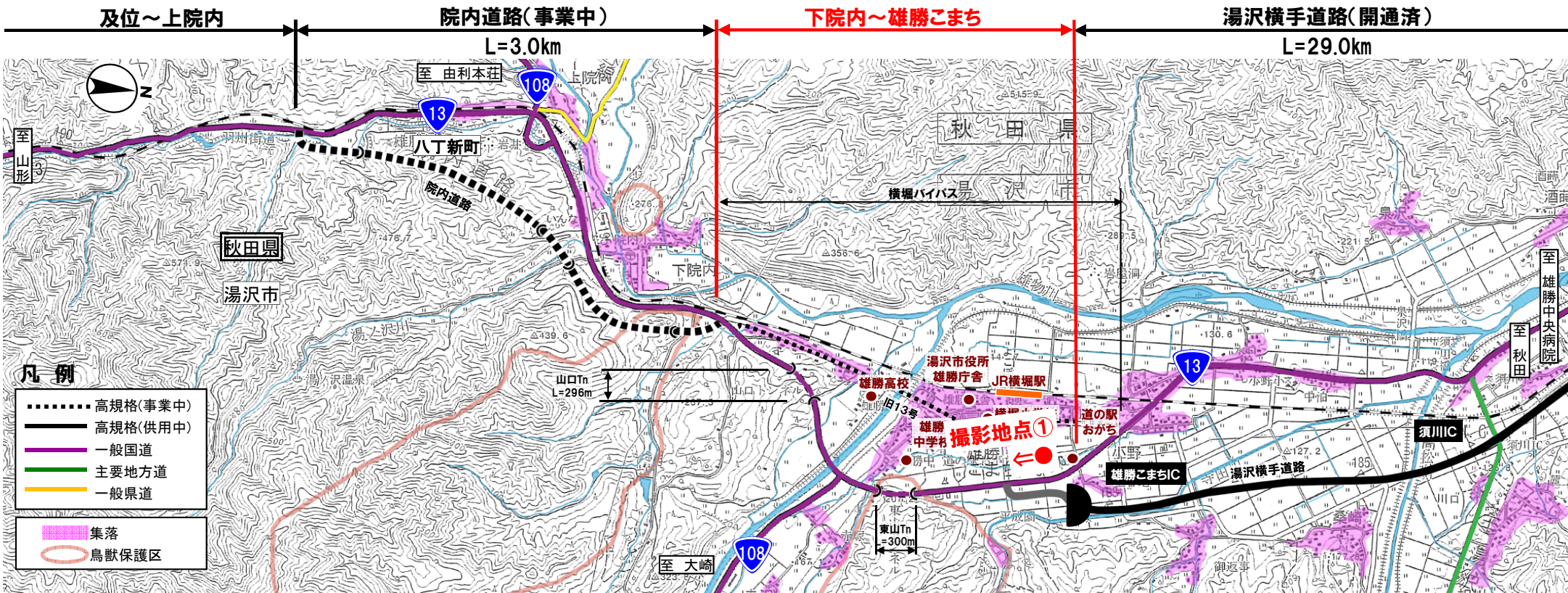
地域への意見聴取から声が多かった、国道13号などの主要路線から利用しやすいこと、集落に近いこと、安全な乗り降りができること、地域経済の発展に寄与する観光地等へのアクセスに配慮した配置案とする。

3. その他

具体の道路構造等の検討に際し、地質の状況を把握し、コスト縮減等にも配慮する。

◆国道13号の課題である事故発生割合の高い箇所、除排雪作業に伴う交通規制、交通事故等による通行止め時の影響を回避し、定時性と速達性が図られる『全線新設道路』を整備



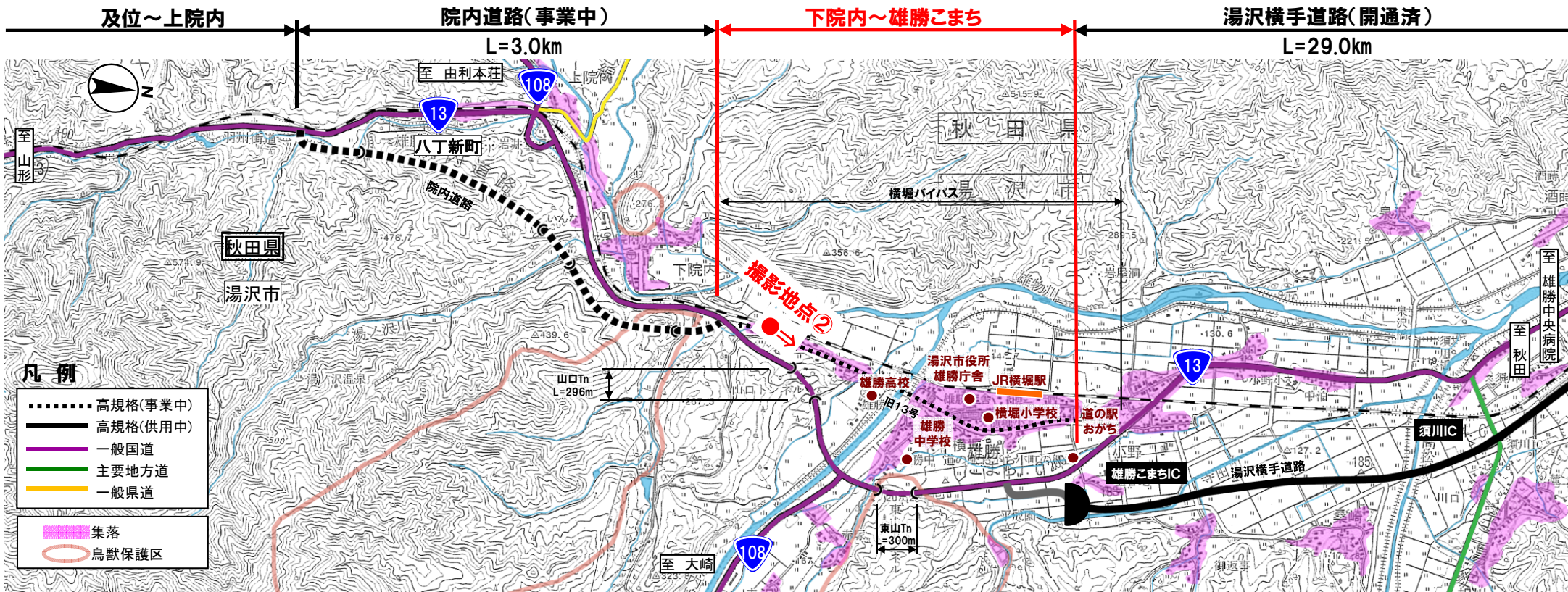


【夏期】

【冬期】

【雪堤成長時 出入車両視認不良】





【夏期】

【冬期】

【路面状況悪化時 速度低下】

